

2024年度 大学コンソーシアム市川

特別履修学生募集要項

— 後期・秋学期 単位互換 —

大学コンソーシアム市川

和洋女子大学 千葉商科大学 東京医科歯科大学教養部

昭和学院短期大学 東京経営短期大学

目 次

1. 特別履修学生出願手続き等について	2
2. 2024年度後期・秋学期 単位互換科目一覧	3
1) 昭和学院短期大学	...	4
2) 東京経営短期大学	...	15
3) 千葉商科大学	...	23
4) 和洋女子大学	...	40
3. 各大学へのアクセス	62
4. 出 願 票	63

2024年度 大学コンソーシアム市川における
特別履修学生出願手続き等について

大学コンソーシアム市川

1. 出 願

以下の期間内に、所属大学の事務担当窓口申し出てください。

2024年9月2日（月）～9月11日（水）

・昭和学院短期大学	教務課	TEL 047-324-7115
・東京経営短期大学	学務課	TEL 047-328-6161
・千葉商科大学	教務課	TEL 047-373-9754
・東京医科歯科大学教養部	事務部教養教務・支援係	TEL 047-300-7105
・和洋女子大学	教務課	TEL 047-371-1124

2. 受入許可等

所属大学からの受入依頼に基づき、受入を許可した大学は、所属大学へ受入許可の通知をします（本人には直接通知しません）。

なお、受入学生数を超える応募者がある場合、抽選により決定します。

3. 履 修 料

原則として無料とします。授業科目によって教科書及び教材費等が必要な場合は、各自の負担となります。

4. そ の 他

- (1) 自動車及び二輪車による通学は各大学の指示に従ってください。
- (2) 障がい等により受講に不安のある学生は、事前に所属大学を通して各大学窓口にご相談してください。
- (3) 開講曜日・時限を都合により変更する場合等は、各大学より通知します。
- (4) 授業開始日を含む学事暦（年間スケジュール）やシラバスが変更になる場合があります。出願の際は各大学の事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

2024年度 後期・秋学期 単位互換科目一覧

大学コンソーシアム市川

大学名	学部・学科	科目	教員名	単位数	曜日・時限	備考
昭和学院短期大学	人間生活学科 キャリア創造専攻	カフェデザイン	中田 玲子	2	木・3	
		衣生活論	板垣 昌子	2	水・1	
		消費科学	川田 江美	2	水・1	
	人間生活学科 こども発達専攻	心理学	白岩 等	2	金・5	
		生活学	片桐 恵子	2	金・3	
	ヘルスケア栄養学科	世界の料理と食文化	山中 珠美	2	水・1	
		環境と健康	加藤 智樹	2	金・3	
健康科学概論		加藤 智樹	2	金・4		
東京経営短期大学	経営総合学科	韓国語B	國井 裕	1	月・5	
		メディアカルチャー論	古賀 敢人	2	木・3	
		障害者スポーツ論	菊川 理子	2	木・3	
		スポーツボランティア	菊川 理子	2	金・3	
	こども教育学科	人間関係の心理学	田原 俊司	2	月・2	
		特別演習 I	鈴木 律子	1	木・2	
千葉商科大学	商経学部	経営戦略論	奥寺 葵	2	オンデマンド	遠隔オンデマンド
		初級簿記Ⅱ	千葉 啓司	2	水・1	
		情報数学	久保 誠	2	金・2	
		情報科学概論	小林 直人	2	オンデマンド	遠隔オンデマンド
	政策情報学部	都市政策・計画論	榎戸 敬介	2	木・2	
		環境社会学	平原 隆史	2	金・3	
		色彩学	箕原 辰夫	2	火・4	遠隔リアルタイム
	サービス創造学部	スポーツ・エンターテインメントサービス論	仁平 京子	2	月・5	
		物流サービス論	大下 剛	2	火・5	
	人間社会学部	まちづくり論	猪熊 ひろか	2	火・2	
		観光社会学	藤井 紘司	2	火・2	
		アジアの経済と社会	NGUYEN Thuy	2	火・3	
	国際教養学部	現代社会解析 (3Q)	手賀 洋一	2	火1・金1	週2回授業
和洋女子大学	人文学部 日本文学文化学科	身体表現論Ⅰ	宮川 麻理子	2	月・5	
		ポピュラーカルチャーⅡ	仁藤 潤	2	月・4	
		現代アート論Ⅱ	仁藤 潤	2	木・4	
		アニメーション学	仁藤 潤	2	木・3	
		文学セミナー 現代の文化と文学	小堀 洋平	2	木・5	
		デジタル・ゲーム学	山本 貴光	2	金・5	
	人文学部 心理学科	青年心理学	池田 幸恭	2	月	遠隔オンデマンド
		心理学統計法	高梨 一彦	2	水・5	
	国際学部 英語コミュニケーション学科	英語圏文化概論	長妻 由里子	2	水・4	
		マーケティング論	藤丸 麻紀	2	月・1	
	国際学部 国際学科	国際社会文化の基礎 (現代社会)	里正 明伍	2	月・2	
		国際社会文化の基礎 (現代政治)	金丸 裕志	2	金・4	
		観光文化と地理	板垣 武尊	2	木・5	
		ヨーロッパ文化社会論	秦泉寺 友紀	2	金・2	
	家政学部 服飾造形学科	立体構成学実習Ⅰ	山本 高美	1	月3・4 (13:00~ 15:25)	実習費 ¥3,000-
		立体構成学実習Ⅰ	山本 高美	1	木1・2 (9:45~ 12:10)	実習費 ¥3,000-
	家政学部 家政福祉学科	住居学	金指 有里佳	2	火・2	
		高齢者福祉論	岡本 秀明	2	水・1	
		衣生活論	柴田 優子	2	火・2	

2024年度 後期・秋学期
単位互換科目一覧

昭和学院短期大学

学科	科目	教員名	単位数	曜日・時限	備考
人間生活学科 キャリア創造専攻	カフェデザイン	中田 玲子	2	木・3	
	衣生活論	板垣 昌子	2	水・1	
	消費科学	川田 江美	2	水・1	
人間生活学科 こども発達専攻	心理学	白岩 等	2	金・5	
	生活学	片桐 恵子	2	金・3	
ヘルスケア栄養学科	世界の料理と食文化	山中 珠美	2	水・1	
	環境と健康	加藤 智樹	2	金・3	
	健康科学概論	加藤 智樹	2	金・4	

注1. 全て面接授業（登校して受講）となります。

2. 受入人数は若干名です。

3. 不明点は教務課までお問い合わせください。（Tel 047-324-7115）

<時間割>

- 1 時限 9:10～10:40
- 2 時限 10:50～12:20
- 3 時限 13:05～14:35
- 4 時限 14:45～16:15
- 5 時限 16:25～17:55

<授業開始日>

2024年9月25日（水）

※出願の際は事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

<開講キャンパス>

昭和学院短期大学 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2丁目17-1

◇アクセス◇

- ・JR 総武線「本八幡」駅下車徒歩 20 分、
または都営新宿線「本八幡」駅、京成電鉄「京成八幡」駅下車徒歩 15 分
(大町駅・高塚・東松戸駅行きバス 5 分)
- ・JR 総武線「市川」駅下車 バス 10 分(市川学園、本八幡駅行き)
- ・JR 武蔵野線「市川大野」駅下車バス 10 分(本八幡駅行き) ※いずれのバスも「昭和学院前」下車

2024年度学事暦 昭和学院短期大学

月	日	曜日	人間生活学科・ヘルスケア栄養学科
4	2	火	入学式
	8	月	前期授業開始
5	16	木	体育祭(オンデマンド型補講)
7	31	水	前期定期試験開始
8	2	金	前期定期試験終了
9	25	水	後期授業開始
10	25	金	真間祭準備(オンデマンド型補講)
	26	土	真間祭
	27	日	真間祭
	28	月	真間祭片付け(オンデマンド型補講)
	29	火	学園祭代休
12	21	土	冬季休暇開始
	23	月	授業実施
1	14	火	授業再開
	23	火	創立記念日(オンデマンド型補講)
2	5	水	後期定期試験開始
	7	金	後期定期試験終了
3	15	土	卒業式

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	カフェデザイン	中田 玲子	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>カフェデザインとは、自分のイメージするカフェを検討、設計していくことである。この授業では、カフェの開業準備を疑似体験しながら、提供するフードやドリンクメニューの検討、インテリアやテーブルコーディネート基礎知識を学び、自分好みのカフェのイメージやプランを作り上げる。またカフェ経営には財務面の知識が不可欠である。この基本を理解するため、開業に向けた投資計画、収支計画、原価計算などを学ぶ。最終的には、授業で学習した内容をもとに、自分がイメージするカフェ経営についての企画をとりまとめ、聞き手に伝えることのできる力を身につける。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>カフェ経営に必要なデザイン面のプランニングができ、財務面の検討を行える（レポート40%） グループワークが必要な場合に調整ができ、協同して物事に取り組むことができる（授業態度20%） 十分な検討に基づいた作品（メニュー表など）を作り上げ、他者に企画の意図を説明することができる（作品40%）</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 毎回の授業時にレジュメを配布する 参考書： 日本フードコーディネーター協会編『新・フードコーディネーター教本2023 3級資格認定試験対応テキスト』（柴田書店）</p>						
【その他】企画書、作品のフィードバックを行う。 実務家教員による授業						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	カフェデザインとは シラバスの確認、カフェの歴史、基礎知識	事前学習： シラバスを確認する、流行しているカフェを調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
2	カフェのスタイルを知る、考える 様々なスタイルの理解、自分の好みの発見	事前学習： 様々なカフェのスタイルに着目し、自分が好きなスタイルを考える 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
3	カフェのメニューを知る、検討する カフェフード（食事、デザート、ドリンク）	事前学習： カフェでどのような食が提供されているか調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
4	カフェのレイアウト、インテリアを考える インテリア、設備、什器（食器など）	事前学習： カフェの店内レイアウト、インテリアを調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
5	カフェの厨房、導線を考える 必要な厨房設備、機器、人員	事前学習： カフェの店員や来店客の導線を調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
6	自分の空想カフェのイメージを固める（1） 強み（特徴）、スタイル、メニュー、設備など	事前学習： これまでの学習から自分の好みのカフェのイメージを整理する 事後学習： 他者の案の良い点悪い点を考え、自分の企画案を見直す				
7	カフェの立地、店舗物件を選定する 立地や店舗物件の選定観点など	事前学習： 様々なカフェの立地を調べ、メリット・デメリットを考える 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
8	カフェの起業に必要な投資を把握する 投資計画の作成、資金の調達方法	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
9	カフェ経営の収支を考える 売上と費用、収支計画の作成	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
10	カフェ経営の損益分岐点を知る 損失が出るか利益が出るかの分かれ目となる売上	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
11	自分の空想カフェのイメージを固める（2） 立地、店舗規模、営業内容など	事前学習： これまでの学習から自分の空想カフェの出店イメージを整理する 事後学習： 作成した企画案を見直す				
12	カフェのサービス内容を具体的に考える セルフ／フルサービス、制服、スタッフ教育など	事前学習： 様々なカフェでどのようにサービスしているか観察する 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する				
13	メニュー表、カフェプランを完成する 個性を表現したメニュー表、カフェプラン作成	事前学習： 自分の空想カフェにふさわしいメニュー表のスタイルを考える 事後学習： 作成したメニュー案、カフェプランを見直す				
14	自分の空想カフェのプラン、作品を発表する 個性豊かなカフェプランの共有、意見交換	事前学習： 空想カフェのプランを取りまとめる 事後学習： 自分の作品や発表内容の改善点を考える				
15	カフェデザインのまとめ カフェ経営についての総まとめ、意見交換	事前学習： 授業全体を振り返り、資料を読み直す 事後学習： 授業資料や自分の作品を振り返り、今後に生かせるよう整理する				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	衣生活論	板垣 昌子	後期・秋学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 人間のみが営む衣生活を社会科学的側面、自然科学的側面から解説する。 衣服に使用されている素材や、衣服と快適性の関係、衣服の洗濯・保管などの取り扱い方、そして衣生活に関する消費者問題や環境とのかかわりについても取り上げる。 衣生活を豊かにするための基礎的知識と能力が身につく、実践力がつく。また、衣生活行動から問題点を抽出し、どのように改善すべきか自分の言葉で表現できる能力が身に付く。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 自然科学的、社会的科学的に衣生活全般を理解する (定期試験 60%) 衣生活を豊かにするための実践できる基礎的知識と能力が身につく (レポート・作品 20%) 衣生活行動から問題点を抽出し、どのように改善すべきか自分の言葉で表現できる。(レポート20%)						
【教科書・参考書】 教科書： 配布資料 参考書： 加藤ら「衣生活論」建帛社						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	衣服と心理 衣生活日誌について説明 …個人と衣服 着装心理の個人的要因	事前学習： 今までの自身の生活の中で特に衣生活について振り返る。 事後学習： 自身の衣生活に対し問題意識をもち、当日の衣生活日誌を完成させる。				
2	衣服と社会生活 ……①流行の成り立ち ②社会規範と集団規範	事前学習： 衣服を着用する要因を考える 事後学習： 衣服を着用する保健的・社会的要因について自身の衣生活と併せて掘り下げる。				
3	衣服と社会生活 ……現代の衣生活	事前学習： 衣服を着用する要因を考える 事後学習： 衣服を着用する保健的・社会的要因について自身の衣生活と併せて掘り下げる。				
4	衣文化の変容(1) 日本の衣文化の変遷 衣服形態の意味と象徴、色彩の意味と象徴	事前学習： 日本の衣文化の成り立ちを考える 事後学習： 衣服着用の社会的に意義について理解する				
5	衣文化の変容(2) 西洋服飾の変遷	事前学習： 西洋の衣文化の変遷について調べる 事後学習： 衣服造形が世界各地の気候的背景、文化的背景により発展してきた様子を調べる				
6	服飾表現とメッセージ 衣服による感情効果、色彩による感情効果	事前学習： 着装環境について考える 事後学習： 着装環境と自身の衣服選択を併せて振り返る				
7	衣服造形の基礎縫い(1) 糸と針 まつり縫い、ボタン付け等の基礎縫い	事前学習： 基礎縫いについて確認しておく 事後学習： 基礎縫い(まつり縫い)を仕上げる				
8	衣服造形の基礎縫い(2) 飾り縫い、刺繍の実践	事前学習： 刺繍の種類について確認し、刺繍の図案を考える 事後学習： 飾り縫いを進める				
9	衣服造形の基礎縫い(3) 飾り縫い、刺繍の実践	事前学習： 図案にもとづいて技法を考える 事後学習： 飾り縫いを進める				
10	衣服造形の基礎縫い(4) 飾り縫い、刺繍の実践 課題提出	事前学習： 飾り縫いを進める 事後学習： 飾り縫いについてレポートする				
11	衣服の衛生と衣環境	事前学習： 被服の快適性について調べる 事後学習： 着用している衣服の衣環境についてまとめる				
12	衣服の素材 …各種繊維について	事前学習： 自分の所有している衣服の素材について調べる 事後学習： 各素材の繊維について復習する				
13	衣服の管理 レポート提出	事前学習： 家庭で行っている衣服の取り扱いについて調べる 事後学習： 洗濯洗剤、洗濯機、防虫剤など実物の表示や使用方法について確認する				
14	衣服と環境	事前学習： 所有衣類の廃棄の仕方をまとめておく 事後学習： 社会で問題視されている環境問題の中で衣服に関わる事象を調べる				
15	これからの衣生活設計 衣生活日誌からみる自分の装いについてまとめる。 レポート提出	事前学習： 自身や家族など身近な人の衣生活から社会全体の衣生活の向上について考える 事後学習： 授業で学んだことを復習し、定期試験にむけて勉強をする				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	消費科学	川田江美	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 本講座では、モノの生産、流通、消費の実態を明らかにし、これを生活の豊かさの向上に結びつける考えを構築する。特に繊維製品について、その生産から消費に至る過程を学ぶことで、将来アパレル業界にて活躍する人材の育成を行う。特にFAの立場を考えれば、お客様からのクレームはつき物であり、その対処法は非常に重要であることから消費者苦情に関し注意深く思考を深める。加えて科学的な視点から衣服製品の質を評価できる能力を養う。専門的な知識を中心に消費を科学的な視点で考察できる思考力が身につく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 消費者・生産者の両面の立場を理解した上で、購買行動に関し正しく理解できるとともに、繊維製品の生産、消費、流通について正しく説明できること。さらに消費者苦情の原因を見極め、苦情の種類・原因を究明でき、的確な対応も考えることができること。評価については授業内試験及び消費者苦情レポートにより実施する。						
【教科書・参考書】 教科書： 「衣生活のための消費科学」日本衣料管理協会編 参考書： 適宜指示する						
【その他】 レポートはフィードバックを行う						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	消費科学とは		事前学習： 消費者としての自分の行動を概観する 事後学習： 消費者としての自分の行動を科学的な視点で考察する			
2	消費者行動 ①消費者行動の特徴		事前学習： 自分の衣服購買行動を振り返る 事後学習： 学んだ内容から衣服購買行動の自分の特徴的な傾向を導き出す			
3	消費者行動 ②購買行動の要因		事前学習： 衣服購入の際の購入意思決定に与える要因を考える 事後学習： 購買行動の要因を衣服以外でも考察する			
4	消費者行動 ③商品・店舗と消費者		事前学習： 1年間の衣服購買品を列記する 事後学習： 1年間の衣服購買行動を特徴別に分類する			
5	消費者行動 ④消費者調査法消費者行動 確認テスト①		事前学習： 確認テスト対策をする 事後学習： 確認テストの自己採点を行う			
6	繊維製品の品質 ①品質とは②品質の評価		事前学習： 繊維製品の品質 ①品質とは②品質の評価 事後学習： アイテムごとの品質表示特徴を考察する			
7	繊維製品の品質 ③品質保証 ④品質表示		事前学習： 手持ち衣料の取り扱い絵表示調査し列記する (5点) 事後学習： 繊維ごとの取り扱い絵表示特徴を考察する			
8	繊維製品の品質 ⑤繊維製品の安全性		事前学習： 手持ち衣料のデメリット表示調査し列記する (5点) 事後学習： 繊維ごとの取り扱い絵表示特徴を考察する			
9	繊維製品の品質 ⑥消費者苦情 (1) 理論		事前学習： 消費者苦情に値する衣料品の抽出を行う 事後学習： 苦情に繋がる理由を導き出す			
10	繊維製品の品質 ⑥消費者苦情 処理レポート・ディスカッション		事前学習： 苦情レポート対策シートを確認する 事後学習： 苦情に繋がる理由を導き出す			
11	まとめ1 繊維・素材について		事前学習： テキスタイル学・テキスタイル実験の復習 事後学習： 過去問題を実施する			
12	まとめ2 整理・加工		事前学習： ファブリックケア論・ファブリックケア実験の復習 事後学習： 過去問題を実施する			
13	まとめ3 企画・設計・生産		事前学習： アパレルデザイン論・ファッションビジネス・アパレル造形実習の復習 事後学習： 過去問題を実施する			
14	まとめ4 流通・消費		事前学習： 消費科学・消費者調査法の復習 事後学習： 過去問題を実施する			
15	確認テスト (協会指定)		事前学習： 確認テスト対策をする 事後学習： 確認テストの自己採点を行う			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	心理学	白岩 等	後期・秋学期	選択	講義	2
〔授業のねらい〕 一般に心理学というと、悩みを抱えている人を助けたり、コミュニケーションや犯罪捜査に役立ったりする印象があるが、それらは心理学の一部分であり、実際にはもっと広がりのある学問である。これまでの心理学関係の専門科目などで、思っていたよりも心理学は面白くないと感じた人もいないかもしれない。本講義では、主に身近な現象や生活を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して心理学の面白さに気づき、知識と考察を深めていくことをねらいとする。						
〔学修成果(達成目標)及び成績評価の方法〕 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学における基礎的な知識を持ち、社会生活の中で活用できる。(定期試験70%) ・心理学に対し興味を持ち、より深く学ぼうとする。(受講態度30%) 						
〔教科書・参考書〕 教科書： サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学入門』（有斐閣） 参考書： 授業時に適宜紹介する						
〔その他〕 <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についてフィードバックする。 ・実務家教員による授業。 						
〔授業の内容・スケジュール〕				〔準備学習の内容〕		
1	心理学とは何か エピソードから心理学を考える。			事前学習： シラバスを読み、心理学についての自分なりのイメージを持つ。 事後学習： 興味を持ったテーマについて調べる。		
2	臨床心理学① カウンセリングの歴史と実際			事前学習： カウンセリングに対するイメージについて調べる。 事後学習： 臨床心理学がどのように社会で用いられているか復習する。		
3	臨床心理学② さまざまな心理療法			事前学習： 心理的に治療について、自分なりにイメージする。 事後学習： 個々の側面からアプローチする心理療法について復習する。		
4	性格と個人差の心理学 血液型性格判断はどこまで正しいか			事前学習： 性格は変わるものなのか、変わらないものなのかを考える。 事後学習： 性格がどのようにとらえられているか復習する。		
5	社会的行動の心理学① どうしたら相手を説得できるのか			事前学習： 相手をどのように説得しているかについて考える。 事後学習： 行動の原因や意図について復習する。		
6	社会的行動の心理学② 人間に及ぼす集団の力			事前学習： どんなときに人は攻撃したり、傷つけたりしやすいのか調べる。 事後学習： どのように集団が人間を変えることがあるのか復習する。		
7	発達心理学① 発達とは何か			事前学習： 発達とは何か自分なりの意見をまとめておく。 事後学習： 授業で触れた発達の理論について復習する。		
8	発達心理学② 人間の発達のありさま			事前学習： こどもがどのように育つのか思い出す。 事後学習： 自身がこれから先どのように発達していくのか復習する。		
9	心理学的アセスメント 心をどのようにして測るのか			事前学習： 身近にある「〇〇力」はどのように測っているのか考える。 事後学習： 操作的定義、信憑性と妥当性について復習する。		
10	知覚・認知・記憶の心理学① 人は環境をどのようにとらえているのか			事前学習： 環境をとらえるのは目なのか脳なのかについて考える。 事後学習： 人が環境をどのようにとらえているかを復習する。		
11	知覚・認知・記憶の心理学② 記憶の仕組みと認知バイアス			事前学習： 自分が持っている一番古い記憶を書き出す 事後学習： 記憶の仕組みと認知バイアスについて復習する		
12	行動と学習の心理学 行動とは何か レスポンド条件付け・オペラント条件付け			事前学習： 行動とは何か、学習とは何かについて、自分なりに考える。 事後学習： 行動と学習について復習する。		
13	親密な関係における暴力 なぜ、DVやデートDVは起きるのか			事前学習： 親密な関係の中でなぜ暴力が起きるのかを考える。 事後学習： DVやデートDVについて復習する		
14	心理学の歴史 心理学がどのように生まれ、批判され、発展してきたか			事前学習： 教科書の該当部分を読んでおく 事後学習： 心理学の歴史について復習する		
15	まとめ			事前学習： これまでのプリントや教科書を読んでおく 事後学習： 新たに分かったこと、疑問点などをまとめる		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	生活学	片桐 恵子	後期・秋学期	必修	講義	2
【授業のねらい】						
<p>幼児期から児童期は「人間形成の基礎」を育成する重要な時期である。発達段階では、子ども達は生活の中の直接的な人とかかわり、ものとかかわりを通して、より抽象的な概念を認識していくので、生活学では子どもの主体的な「気づき」を大切に考える。本授業では、身の回りの自然、社会、人などを対象に学生自身が改めて注意を向け、自ら発見や疑問などの気づきを通して、生活学の体験学習の内容と方法を理解する。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>自己の気づきを的確に表現することができる (レポート50%) 身の回りの出来事に疑問を持ち、探求できる (レポート50%)</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 配布資料 参考書： 文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』</p>						
【その他】						
課題とレポートのフィードバックを行う。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	オリエンテーション 生活科の目標と内容の理解			事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 授業内容を整理する		
2	「生活学」と「生活科授業」 生活リズムDVD レポート提出			事前学習： 自らの生活科の体験を整理しておく 事後学習： 授業内容を整理する		
3	幼児教育機関と小学校の連携 幼小連携のあり方 レポート提出			事前学習： 幼児教育と小学校教育の共通点を考える 事後学習： 授業内容を整理する		
4	生活学における「気づき」① わたしのまち：課題設定と情報収集、指導内容を考える			事前学習： 自分の住む地域の良い所や改善点を書き出す 事後学習： 授業内容を整理する		
5	生活学における「気づき」② わたしのまち：情報分析整理と新たな課題設定、活動方法を考える			事前学習： 自分の住む地域をより良くする具体的方法を考える 事後学習： 授業内容を整理する		
6	生活学における「気づき」③ 自然とのふれあい レポート提出			事前学習： 自然の不思議さや美しさについて調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
7	生活学における「気づき」④ 季節の変化と生活 レポート提出			事前学習： 年中行事を調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
8	生活学における「気づき」⑤ 飼育栽培 レポート提出			事前学習： 身近な小動物の飼育方法について調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
9	生活学における「気づき」⑥ 季節の変化と生活			事前学習： 年中行事を調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
10	生活学における「気づき」⑦ 発表			事前学習： 発表準備をする 事後学習： 授業内容を整理する		
11	生活学における「気づき」⑧ 身の回りの物を活用した遊び 作品・レポート提出			事前学習： 自然を活用した制作について調べる 事後学習： 動く玩具の制作についてまとめる		
12	生活学における「気づき」⑨ 身の回りの物を活用した遊び 作品・レポート提出			事前学習： 廃材の活用方法について調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
13	生活学における「気づき」⑩ 野菜栽培、飼育の理解 レポート提出			事前学習： 野菜栽培、腐葉土や肥料について調べる 事後学習： 授業内容を整理する		
14	生活科と理科・社会化の関連 子どもの成長 レポート提出			事前学習： 自らの体験をまとめておく 事後学習： 授業内容を整理する		
15	まとめ			事前学習： これまでの授業内容を復習する 事後学習： 授業内容を整理する		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	世界の料理と食文化	山中 珠美	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>人類にとって「食」は生命の維持活動の為だけではなく、調理、調味などという独自の能力を使い、「おいしさ」という嗜好性を追求することができる。歴史の変遷があるように「食」にも変遷があり、常に人類は「おいしさ」を求め、その料理の味を変化させ、多様な料理を生み出している。それを「食文化」と位置づけ、それにかかわる歴史的背景や自然環境などの特徴や課題について、料理を中心に理解を深めることを目的としている。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>到達目標 料理の成り立ちを食文化を踏まえて理解できる(専門的知識・技術 60%) 食文化の形成に起因する要素を、自らの持つ知識や調査した内容を踏まえて表現することができる(向上心・責任感 40%) (評価手段)レポート(毎回) (評価の観点) (専門的知識・技術)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 レポートに、授業内容を理解していることが伺え、自分自身の考えを理論的に関連付けて述べるができる。 4 レポートに、授業内容を理解していることが伺え、自分自身の考えを述べるができる。 3 レポートに、授業内容を理解していることが伺える。 2 レポートに、授業内容をある程度理解していることが伺える。 1 レポートに、授業内容を理解していることが伺えない。 <p>(向上心・責任感)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について現代社会の問題点を踏まえ、自らの考えを入れて説明することができる。 4 郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について、自らの考えを入れて説明することができる。 3 郷土料理の成り立ちを明らかにし、その活用法、継承について説明することができる。 2 郷土料理の成り立ちを明らかにし、説明することができる。 1 郷土料理の成り立ちを明らかにしている。 						
【教科書・参考書】						
教科書： なし (授業時にプリントを配布する。)						
参考書：						
【その他】						
課題のフィードバックを行う。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	食文化の定義	事前学習： 日本の食文化について考えておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
2	日本の料理と食文化①和食の成り立ち、食事様式	事前学習： 年中行事を振り返る		事後学習： 授業内容をまとめる		
3	日本の料理と食文化②年中行事	事前学習： 長崎料理を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
4	日本の料理と食文化③郷土料理の成り立ち 異文化が及ぼした日本の食への影響	事前学習： 千葉県郷土料理を調べておく		事後学習： 郷土料理の情報を充実させておく		
5	日本の料理と食文化④郷土料理を知る 千葉県含む関東の食文化を学ぶ	事前学習： 日本の郷土料理に興味があるものを調べておく		事後学習： 郷土料理の地域別の特徴をまとめる		
6	日本の料理と食文化⑤ (オンライン) 郷土料理を知る～資料作成～郷土料理の背景	事前学習： 資料の内容を充実させる情報を収集しておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
7	日本の料理と食文化⑥ (オンライン) 郷土料理を知る～資料作成～郷土料理の紹介	事前学習： 中国料理の特徴を考える		事後学習： 授業内容をまとめる		
8	世界の料理と食文化① 台湾、中華人民共和国	事前学習： アジア料理の特長をまとめる		事後学習： 授業内容をまとめる		
9	世界の料理と食文化② 大韓民国、インドネシア、ベトナム	事前学習： アジア料理の調味料を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
10	世界の料理と食文化③ タイ、マレーシア、インド ほか	事前学習： 世界4大料理を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
11	世界の料理と食文化④ トルコ共和国、ブルガリア共和国	事前学習： フランス料理とイタリア料理の関係性を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
12	世界の料理と食文化⑤ フランス、イタリア	事前学習： ヨーロッパ諸国の料理について調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
13	世界の料理と食文化⑥ スペイン、ドイツ、イギリス	事前学習： アフリカの特徴的な食材を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
14	世界の料理と食文化⑦ エジプト、アラブ共和国、モロッコ	事前学習： 中南米の特長的な食材を調べておく		事後学習： 授業内容をまとめる		
15	世界の料理と食文化⑧ メキシコ、ブラジル連邦共和国	事前学習： 食の未来を考えてみる		事後学習： 授業内容をまとめる		
15	世界の料理と食文化⑨アメリカ合衆国 近年の食事情 (グルテンフリー、ヴィーガンなど)					

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	環境と健康	加藤 智樹	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 地球規模で変化しつつある環境問題とその健康影響や環境負荷、生態系、生物多様性、食物連鎖・生物濃縮の概念、SDGs(持続可能な開発目標)について知り、対策を考察する。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 地球規模で変化しつつある環境問題とその健康影響や環境負荷などについて知り、対策について考察する(確認テスト、50%) 習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。(レポート、30%) 課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につける(受講態度、20%)						
【教科書・参考書】 教科書: 「健康管理士一般指導員テキスト」(日本成人病予防協会) 参考書: 川添禎浩「健康と環境の科学」(講談社) 河合真一郎他「環境科学入門(第2版)地球と人類の未来のために」(化学同人)						
【その他】各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、授業後は自宅学習に復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	SDGs(持続可能な開発目標)、環境倫理			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
2	環境教育、人と環境のかかわり			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
3	環境問題の歴史			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
4	まとめ①(1回~5回の復習) 確認テスト			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
5	地球環境問題			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
6	空気と大気汚染			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
7	水と水質汚濁			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
8	土と土壌汚染			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
9	化学物質による汚染			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
10	まとめ①(1回~5回の復習) 確認テスト			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
11	放射能汚染			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
12	汚染物質の毒性と生体内での代謝			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
13	内分泌かく乱物質			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
14	飲料水と食品、ゴミと廃棄物			事前学習: 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習: 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。		
15	総復習(1回~14回の復習) 確認テスト③			事前学習: 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習: 授業全体の内容を振り返り、理解を深める		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
昭和学院 短期大学	健康科学概論	加藤 智樹	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 生活習慣病や自己免疫疾患などの発病メカニズムについて学び、予防と健康管理について知る。調べ学習を通して、課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につけ、習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がるのかを理解する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 生活習慣病や自己免疫疾患などの発病メカニズムについて学び、予防と健康管理について知る（確認テスト、50%） 習得した知識が今後学んでいく専門科目や健康管理士一級指導員認定資格にどのように繋がっていくのかを理解する。（レポート、30%） 課題への取り組み方や解決方法を本科目での学びを通して身につける。（受講態度、20%）						
【教科書・参考書】 教科書： 「健康管理士一般指導員テキスト」（日本成人病予防協会） 参考書： 随時紹介する						
【その他】 各授業の開始時に前回までの内容の復習・フィードバックを行う。受講にあたっては必ず予習をしてから授業に臨み、授業後は自宅学習に復習に取り組むこと。確認テストの実施日程は講義内で伝達する。授業の進行状況その他の事情で、授業の内容や順番の入替え・変更を行うことがある。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	健康の概念		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
2	生活習慣病の基礎知識①		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
3	生活習慣病の基礎知識②		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
4	まとめ①（1回～5回の復習） 確認テスト		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
5	生活習慣病の基礎知識③		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
6	生活習慣病の基礎知識④		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
7	生活習慣病の基礎知識⑤		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
8	栄養と健康/病気と栄養/運動と栄養①		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
9	栄養と健康/病気と栄養/運動と栄養②		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
10	まとめ①（1回～5回の復習） 確認テスト		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
11	時間栄養学/食育		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
12	食の安全と環境		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
13	体を守る薬の役割/東洋医学		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
14	心の健康管理		事前学習： 教科書の該当箇所を読み、基本用語を予習する。 事後学習： 講義内容を復習し、重要事項の理解を深める。			
15	総復習（1回～14回の復習） 確認テスト③		事前学習： 第1回から第14回までの総復習をする 事後学習： 授業全体の内容を振り返り、理解を深める			

大学コンソーシアム市川

2024年度 後期・秋学期 単位互換科目一覧

東京経営短期大学

学 科	科 目	教 員 名	単位数	曜日・時限	備 考
経営総合学科	韓国語 B	國 井 裕	1	月・5	
	メディアカルチャー論	古 賀 敢 人	2	木・3	
	障害者スポーツ論	菊 川 理 子	2	木・3	
	スポーツボランティア	菊 川 理 子	2	金・3	
こども教育学科	人間関係の心理学	田 原 俊 司	2	月・2	
	特別演習 I	鈴 木 律 子	1	木・2	

注1. 受入人数は若干名です。

2. 原則として面接授業（登校して受講）となります。

<時間割>

1 時限 9:00～10:30

2 時限 10:40～12:10

3 時限 13:00～14:30

4 時限 14:40～16:10

5 時限 16:20～17:50

<授業開始日>

2024年9月23日（月）

※出願の際は事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

<開講キャンパス>

東京経営短期大学 〒272-0001 千葉県市川市二俣 625-1

◇アクセス◇

・JR 中央・総武線、武蔵野線、東京メトロ東西線、東葉高速鉄道
「西船橋駅」南口より 徒歩 12 分

※スクールバスも運行。運行時刻につきましては事務局へお問い合わせください。

<問い合わせ先>

学務課 TEL 047-328-6161

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	韓国語B	國井 裕	後期・秋学期	必修	演習	1
【授業のねらい】 日常生活や旅行等で使われるような基本的なフレーズを反復練習により習得するとともに、これらの表現を読み書き、発音できるようになることを目指している。既存のテキストに加え韓流ドラマの一場面やK-POPの歌詞を通じて、より印象的かつ効果的に韓国語を身につけられる機会を提供したい。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
達成目標 1. 基本的な日常会話、旅行等で使われる簡単な会話ができるようになる。 2. ハングルの読み書き、発音が問題なくできるようになる。 3. 簡単な受け答えを含めた自己紹介ができるようになる。 成績評価：筆記試験、口頭試験、課題、小テスト、授業態度から総合的に判断する。						
【教科書・参考書】 教科書：『本当によくわかる韓国語初級』 KADOKAWA、2021年 参考書：						
【その他】 グルー プ・ワーク等で学んだことをアウトプットできる機会を多く設ける。 シラバスの内容は、受講者の習熟度に合わせて、随時変更が加えられる。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	1. オリエンテーション 2. ハングルの復習①(1～4課:p.94) 3. 文法の復習①(21～22課:pp.138-139) 4. 日常会話練習	事前学習：【予習】60分 ハングルとあいさつ言葉の復習をする。 事後学習：【復習】60分 学んだことをノートに整理する。				
2	1. ハングルの復習②(テキスト5～8課:p.95) 2. 文法の復習②(テキスト23～24課:pp.140-141) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
3	1. ハングルの復習③(テキスト9～12課:p.96) 2. 年月日・曜日(テキスト25課) 3. 日常会話練習 4. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
4	1. ハングルの復習④(テキスト13～16課:p.97) 2. 時間(テキスト26課) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
5	1. 復習(25-26課:160-161) 2. へも、へと、n挿入(テキスト27～28課) 3. 日常会話練習 4. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
6	1. 復習(27-28課:162-163) 2. へヨ体①(テキスト29～30課) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
7	1. へヨ体②(テキスト31～32課) 2. 日常会話練習 3. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
8	1. 復習(30-32課:182-184) 2. へヨ体③(テキスト33課) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
9	1. 復習(21-24課:185) 2. 否定形、不可能形①(テキスト34課) 3. 日常会話練習 4. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
10	1. 復習(25-28課:186) 2. 過去形① 未完了(テキスト35課) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
11	1. 復習(29-32課:187) 2. 過去形②(テキスト36課) 3. 日常会話練習 4. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
12	1. 復習(33-36課) 2. 日常会話練習 3. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
13	1. 尊敬形(テキスト37-38課) 2. 日常会話練習 3. 韓流ドラマから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
14	1. 復習(37-38課:226-227) 2. 尊敬形の過去形、勧誘表現(テキスト39-40課) 3. 日常会話練習 4. K-POPから学ぶ韓国語	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				
15	総復習	事前学習：【予習】60分 テーマに関するテキストの該当箇所を読んで理解する。 事後学習：【復習】60分 課題を提出する。習ったハングルを書く、読む。習ったフレーズ、単語を書く、発音する。				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	メディアカルチャー論	古賀 敢人	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 SNSを中心としたメディアが私たちに与える影響について科学的に分析します。SNSを通じたデジタルコミュニケーションの利点や欠点について、様々な授業内課題を提示し、学生一人ひとりが考える機会を設けます。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 1. SNSをはじめとするメディアの特徴と、そこから読み取れる文化・社会・歴史背景等について議論できる。 2. メディアにまつわる疑問や問題点について自ら探求し、それらの点についての自らの考えを示すことができる。 【成績評価の方法】 中間レポート課題（調べ学習）15点、期末レポート課題（調べ学習）25点、平常点60点						
【教科書・参考書】 教科書： プリントなどを配布する予定 参考書：						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
オリエンテーション 「メディアカルチャー論」の目的について				事前学習： 90分：自分にとって関りの多い「メディア」の種類を考える。		
1 初回の授業にて、「メディアカルチャー論」の授業のねらいや目標について説明します。また、「メディアとは何か」というテーマで議論を進めます。				事後学習： 90分：授業内課題を行い、提出する。		
2 SNSの種類と特徴 日本と世界で使用されるメディアの種類について考察します。				事前学習： 90分：SNSの種類と特徴について調べておく。		
3 公告調査 広告について分析します。学校内にある広告を調べ、広告にはどのような種類があるのか実態を調査します。				事前学習： 90分：広告についてどのようなものがあるか調べておく。		
4 インターネットでの情報検索 インターネットを使って、提示された問いに答えます。インターネットの落とし穴について実験で学べるほか、検索時における注意点についてクラスで共有します。				事前学習： 90分：インターネットで検索をする方法について改めて確認しておく。		
5 アナログの情報検索 提示された問いに対して、インターネットを使用せずに問いを導き出す方法を学びます。その手法のほか、結果についてクラスで共有します。				事後学習： 90分：授業内課題を行い、提出する。		
6 口コミの信憑性 口コミがどのように行われ、その信憑性について様々な事例をもとに考察します。				事前学習： 90分：口コミの事例を調べておく。		
7 中間レポート 過去6回の内容を踏まえた、授業内レポート課題を実施します。				事後学習：		
8 YouTuberの現在 日本と世界のYouTuberの特徴について学び、ヒットの背景をクラスで共有します。				事前学習： 90分：好きなYouTuberを複数挙げておく。		
9 フェイク動画について フェイク動画とは何かを調べ、その実態と結果についてクラスで共有します。				事後学習： 90分：授業内課題を行い、提出する。		
10 デジタルとアナログ デジタルとアナログについてその違いを調べ、それぞれの利点と欠点について事例をもとに学び、クラスで共有する。				事前学習： 90分：フェイク動画について調べておく。		
11 ポップカルチャーについて ポップカルチャーについてその定義を知ったうえで、様々なカルチャーとの比較を行う。				事後学習： 90分：授業内課題を行い、提出する。		
12 メディアにおける言語・非言語コミュニケーション メディアにおける言語・非言語コミュニケーションについて事例を示し、その違いについてクラスで共有します。				事前学習： 90分：言語・非言語コミュニケーションについて調査しておく。		
13 メディアにおけるイメージ メディアが作りだす様々なイメージについて事例から学び、その問題点についてクラスで共有する。				事後学習： 90分：授業内課題を行い、提出する。		
14 プロジェクト 社会的な側面から、メディアカルチャー論について調査分析をします。				事前学習：		
15 期末レポート 過去の授業内容を踏まえた、授業内レポート課題を実施します。				事後学習：		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	障害者スポーツ論	菊川 理子	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 障害児・者についての理解を深めると。また障害児・者がたのしく運動スポーツを体験していくことを支援することの重要性について学ぶ。障害を有する者は スポーツを楽しむだけにとどまらず日々の生活の豊かさの獲得にも直結することの重要性の理解を深める。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
【学修成果(達成目標)】 この授業では、スポーツ基本法やスポーツ基本計画を踏まえて、地域において障害者がスポーツに参加できるよう、障害の種類や程度に応じた配慮をし、障害や障害者をスポーツという文化やその基盤となる日常生活動作の視点から考え直し、障害者スポーツに求められる身体活動の社会支援の意義を探求することを目的とする。 【成績評価の方法】 定期試験又はレポート（５０％）、受講態度（２０％）、毎時提出物（３０％）などから総合的に評価する						
【教科書・参考書】 教科書：適宜資料を配布する。 参考書：授業内で適宜紹介する。						
【その他】 授業の復習をしておくこと。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	オリエンテーション 障害者スポーツとは 障害者スポーツとは教科の目的、授業方法・評価方法などの説明障害者スポーツについて考える	事前学習：障害者スポーツを２つ選んでくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
2	障害者スポーツの意義 障害者スポーツの意義 リハビリテーション、そしてスポーツへ	事前学習：リハビリテーションについて調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
3	障害者の現状とスポーツ① 身体障害の理解とスポーツ・レクリエーション活動	事前学習：障害者について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
4	障害者の現状とスポーツ② 精神障害の理解とスポーツ・レクリエーション活動	事前学習：精神障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
5	障害者の現状とスポーツ③ 知的障害の理解とスポーツ・レクリエーション活動	事前学習：知的障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
6	障害者の現状とスポーツ④ 視覚障害の理解とスポーツ・レクリエーション活動	事前学習：視覚障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
7	障害者の現状とスポーツ⑤ 聴覚障害の理解とスポーツ・レクリエーション活動	事前学習：聴覚障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
8	障害者の現状とスポーツ⑥ 内部障害の理解とスポーツ・レクリエーション	事前学習：内部障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
9	障害者の現状とスポーツ⑦ 重複障害の理解とスポーツ・レクリエーション	事前学習：重複障害について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
10	障害者の現状とスポーツ⑧ 難病の理解とスポーツ・レクリエーション	事前学習：難病について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
11	障害者スポーツの指導 支援の方法について 障害に応じたスポーツの工夫と指導 支援上の注意	事前学習：障害者支援について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
12	障害者スポーツの指導 支援の方法について 安全管理と救急法等について	事前学習：障害者の安全管理について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
13	障害者スポーツの指導 支援の方法について 障害者福祉制度について	事前学習：障害者支援について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
14	障害者の福祉制度について② 支援組織の流れと現状	事前学習：障害者支援組織について調べてくる（90分） 事後学習：本日の講義内容を整理しノートをとる（90分）				
15	障害者スポーツの展望とまとめ これからの障がい者スポーツのありかたなど	事前学習：障害者スポーツの現状について調べてくる（90分） 事後学習：これまでのノートを整理し課題に備える（90分）				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	スポーツボランティア	菊川理子	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
スポーツボランティアとはなにか。ボランティア活動のなかでスポーツボランティアに求められている時代の流れを知る。近年のオリンピック及びパラリンピックにおけるボランティアの必要性を探る。また2025年の高齢者問題についての介護予防事業におけるスポーツボランティア及び介護予防サポーターについてのあり方についても様々な角度からスポーツボランティアにこだわらず広い意味でのボランティアについての現状と今後の課題等について考えながら体得をしていく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
現代社会におけるスポーツボランティアの現状と課題について理解を深め、スポーツにこだわることなく広い意味でのボランティアについて説明ができるようになる。また、介護予防事業におけるスポーツボランティアやパラスポーツなどのボランティアの理解が深まる。 試験又はレポート（50%）、受講態度（20%）、授業内課題（30%）などから総合的に評価する。						
【教科書・参考書】						
教科書： 適宜プリントを配布 参考書： 授業内で紹介						
【その他】						
授業の振り返り 課題については事前に確認調べておくこと						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ボランティアとは スポーツボランティアとは 教科の目的、授業方法・評価方法などの説明			事前学習： ボランティアの活動を2つ選んでくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
2	ボランティアの歴史 スポーツの概念と歴史 スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方			事前学習： スポーツの歴史について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
3	ボランティアの役割と意義 ボランティアの役割とはどのようなことか			事前学習： ボランティアについて調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
4	スポーツボランティアの多様性 スポーツボランティアという関わり方			事前学習： スポーツボランティアについて調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
5	スポーツ推進法とは スポーツに関する法律について知る			事前学習： スポーツ推進法について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
6	スオリンピック パラリンピックの歴史と意義 オリ・パラの歴史と意義について知る			事前学習： オリ・パラの歴史について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
7	スポーツイベントボランティア オリンピック パラリンピック			事前学習： 2020オリンピック・パラリンピックについて調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
8	スポーツイベントボランティア スペシャルオリンピックス 東京マラソン他			事前学習： オリパラ以外のスポーツイベントについて調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
9	障がい児とスポーツ 障害児に対する支援の方法を理解する			事前学習： 障害児について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
10	身体障害児・者とスポーツ 身体障害者・児に対する支援の方法を理解する			事前学習： 身体障害における支援方法について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
11	知的障害児・者とスポーツ 知的障害者に対する支援の方法について理解する			事前学習： 知的障害について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
12	発達障害児・者とスポーツ 発達障害児・者に対する支援の方法を理解する			事前学習： 発達障害について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
13	精神障害児・者とスポーツ 神障害児・者に対する支援の方法を理解する			事前学習： 精神障害について調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
14	コミュニケーション&ホスピタリティ ボランティアを行う上での気配り配慮についての理解			事前学習： ホスピタリティについて調べてくる（60分） 事後学習： 本日の講義内容を整理しノートをとめる（60分）		
15	新時代に求められるスポーツボランティア 新しい社会運動としてのスポーツボランティア			事前学習： スポーツボランティアの現状について調べてくる（60分） 事後学習： これまでのノートを整理しテスト又は課題に備える（60分）		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営 短期大学	人間関係の心理学	田原俊司	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 「初対面で好印象を与えるにはどうしたらいいのか」「周囲の人とうまくやっていくにはどうしたらいいのか」など、誰もが日常生活において抱く素朴な疑問や、関連する実際に起こりうる人間関係上の問題について、心理学的な視点から取り上げる。なお、本授業では、様々な映像資料や心理尺度による学習も行う予定であり、実際に体験することを通して、人間関係について学んでいく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 達成目標 ①人間関係の重要性、人間関係に関する心理学の知識を学び、理解する。 ②自己理解を深め、他者との対話を通してコミュニケーション能力を向上させる。 成績評価の方法 毎授業時に提出する小レポート(40%)、期末レポート(60%)によって判断する。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック: 課題については、原則として講義中に解説を行うことでフィードバックする。						
【教科書・参考書】 教科書: 講義内で参考資料を適宜配布 参考書: 対人心理学の最前線 松井豊(編) サイエンス社 カラー版徹底図解 社会心理学 山岸俊男(監) 新星出版社						
【その他】 進度や理解度によって、授業内容を事前に相談のうえで一部変更する可能性がある。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	オリエンテーション 授業の概要や到達目標を理解し、心理学の全体像について学ぶ。		事前学習: 心理学のイメージを整理しておく(60分)。 事後学習: 心理学の学問的意義や全体像を理解しておく(60分)。			
2	初対面の印象 初対面の際に与える様々な情報の影響力について学ぶ。		事前学習: 現実場面の初対面の経験を踏まえイメージを整理する(60分)。 事後学習: 印象形成に関する理論や考え方を理解しておく(60分)。			
3	人を知る手がかり 他者を知ることに学ぶ。		事前学習: 他者の気持ちをどのように把握しているか整理する(60分)。 事後学習: ステレオタイプや帰属などの考え方や理論を理解(60分)。			
4	じぶんを知る 自己を知ること、他者に伝えることについて学ぶ。		事前学習: ふだん自分に対してどのように感じているかを整理する(60分)。 事後学習: 自己過程に関する考え方や理論を理解する(60分)。			
5	集団の心理学 他者がいるだけで生じる影響力について学ぶ。		事前学習: 現実場面で他者から影響を受けてしまう場面について整理(60分)。 事後学習: 社会的促進や社会的抑制などの考え方や理論を理解(60分)。			
6	リーダーシップ リーダーシップについて学ぶ。		事前学習: 現実場面でリーダーシップの機能などについて整理(60分)。 事後学習: リーダーシップの考え方や理論を理解しておく(60分)。			
7	説得の心理学 認知的不協和、社会的勢力について学ぶ。		事前学習: 他人に説得される場面と心理的な動きについて整理(60分)。 事後学習: 認知的不協和について理解(60分)。			
8	迷信の心理学 個人が迷信を信じる・実践する心理について学ぶ。		事前学習: 自分が知っている迷信について整理(60分)。 事後学習: 選択的記憶、LOCについて理解(60分)。			
9	うわさと災害時の心理学 人と人との間の情報の流れ、災害時に起こりうる心理的な現象について学ぶ。		事前学習: 現実場面における情報の伝達について整理しておく(60分)。 事後学習: 情報の伝達の考え方や理論を理解しておく(60分)。			
10	人助けの心理 人を助けることを促進・抑制する要因について学ぶ。		事前学習: 現実場面の援助行動について整理しておく(60分)。 事後学習: 援助行動の考え方や理論を理解しておく(60分)。			
11	ストレスと向き合う 人間関係のストレスを踏まえ、ストレスへの対処、サポートについて学ぶ。		事前学習: ストレスやその対処について自分の考えを整理しておく(60分)。 事後学習: ストレスとその対処に関する考え方や理論を理解(60分)。			
12	体験学習 今まで授業で学んだ内容を踏まえ、実際の事例をもとに解釈を行う。		事前学習: これまでの授業内容をまとめる(60分)。 事後学習: 授業で与えられた事例以外にも、学んだ心理学的知識を適用して解釈を行う(60分)。			
13	恋愛に関する諸理論 心理学的視点から恋愛関係を学ぶ。		事前学習: 現実場面の恋愛に関する問題について整理しておく(60分)。 事後学習: 恋愛に関する考え方や理論を理解しておく(60分)。			
14	人間関係上の実際の問題を考える いじめ、共依存、デートDV等、問題を抱えた人間関係を心理学的な視点から考える。		事前学習: 人間関係上の問題について整理しておく(60分)。 事後学習: 問題への心理学的視点について理解しておく(60分)。			
15	補足・まとめ 第1～14回のまとめ、補足説明をし、レポート対策をする。		事前学習: これまでのノートを整理しておく(60分)。 事後学習: 人間関係の心理学について統合的な理解を深める(60分)。			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
東京経営短期大学	特別演習 I	鈴木律子	後期・秋学期	選択	演習	1
【授業のねらい】 本科目では、子育てに不安を抱える保護者や子どもの心と身体の発達をサポートできる保育者を目指すため、「保育相談支援」「相談援助」「教育心理学」の分野において、各担当教員の専門領域に応じたトピックを取り扱う。学生は、ディスカッションやフィールドワーク等の体験学習を通して、問題発見や解決策を探るための思考力を養い、教員からのフィードバックを最終結果に反映させながら、実践的スキルを身につけることを目的とする。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 子育て支援についての知識を身につける 傾聴や共感的理解をベースにした相談援助の技術を身につける 成績評価の方法・基準 受講態度・授業への取り組み30%、提出物20%、レポート課題50%を基準に評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 適宜提示する。 参考書： 保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携認定こども園教育・保育要領						
【その他】 参考書:保育士等キャリアアップ研修シリーズ 6 子育て支援・保護者支援 徳永聖子編著						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	オリエンテーション 履修説明、講義の目的、保育相談の意味と意義			事前学習： 保育相談の意味について調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
2	自己理解と他者理解			事前学習： 自分の長所・短所について調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
3	保育者の専門性とは 子どもの最善の利益・カウンセリングマインド			事前学習： カウンセリングマインドについて調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
4	保育相談支援の方法① 相談支援の段階・流れ			事前学習： 保育相談の流れについて調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
5	保育相談支援の方法② カンファレンスとコンサルテーション			事前学習： カンファレンスとコンサルテーションの意味を調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
6	グループワーク① ジェノグラム製作			事前学習： 家系図を調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
7	グループワーク② 事例検討、発表			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
8	カウンセリングの基本① カウンセリングの基本姿勢、傾聴のあり方			事前学習： カウンセリングとは何かを調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
9	カウンセリングの基本② 受容・共感			事前学習： ロジャーズについて調べる 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
10	保護者との信頼関係作り 保護者対応の基本			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
11	保護者対応の実際① ロールプレイ 育児相談			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
12	保護者対応の実際② ロールプレイ 園内トラブルの伝達			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
13	保護者対応の実際③ ロールプレイ 苦情対応			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
14	保護者と協同した保育 子どもの成長の喜びを共有する			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートにまとめる		
15	保護者の子育てを支援する 保護者の心に寄り添う			事前学習： 気になる「事例」を検討する 事後学習： 授業内容をノートもまとめる		

2024年度 後期・秋学期
単位互換科目一覧

千葉商科大学

学 部	科 目	教 員 名	単位数	曜日・時限	備 考
商経学部	経営戦略論	奥 寺 葵	2	オンデマンド	遠隔（オンデマンド）
	初級簿記 II	千 葉 啓 司	2	水・1	
	情報数学	久 保 誠	2	金・2	
	情報科学概論	小 林 直 人	2	オンデマンド	遠隔（オンデマンド）
政策情報学部	都市政策・計画論	榎 戸 敬 介	2	木・2	
	環境社会学	平 原 隆 史	2	金・3	
	色彩学	箕 原 辰 夫	2	火・4	遠隔（リアルタイム）
サービス創造学部	スポーツ・エンターテインメントサービス論	仁 平 京 子	2	月・5	
	物流サービス論	大 下 剛	2	火・5	
人間社会学部	まちづくり論	猪 熊 ひろか	2	火・2	
	観光社会学	藤 井 紘 司	2	火・2	
	アジアの経済と社会	NGUYEN Thuy	2	火・3	
国際教養学部	現代社会解析(3Q)	手 賀 洋 一	2	火・1 金・1	週2回

注1. 受入人数は若干名。

2. 「現代社会解析(3Q)」は、3Q(10月11日(金)～11月26日(火)まで)、週2回の授業となります。

3. 詳細は、教務課までお問い合わせください。(Tel 047-373-9754)

<時間割>

1時限 9:00～10:45

2時限 10:55～12:40

3時限 13:30～15:15

4時限 15:25～17:10

5時限 17:20～19:05

<授業開始日>

2024年10月11日（金） ※出願の際は事務担当窓口やWebサイトで必ず確認してください。

<授業形態>

- ・面接 登校して受講する授業です。
- ・遠隔 オンデマンド型
資料、音声配信の授業となります。
講義ファイルをダウンロードし、一定期間内に視聴する形式となります。
スマートフォンでの受講も可能です。
- ・遠隔 リアルタイム型
Microsoft Teams のオンライン会議システムを利用して、時間割表の時間に受講する授業方式です。

<開講キャンパス>

千葉商科大学 〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3-1

◇アクセス◇

- ・JR 総武線 市川駅下車 徒歩約 20 分
(バス利用の場合は、駅前京成バス 1 番のりばから松戸駅行または松戸営業所行に乗車約 10 分、和洋女子大前下車 徒歩 3 分)
- ・京成線 国府台駅下車 徒歩約 10 分
- ・北総線 矢切駅下車 徒歩約 20 分
(バス利用の場合は、駅前京成バスのりばから市川駅行に乗車約 10 分 和洋女子大前下車 徒歩 3 分)
- ・JR 常磐線 松戸駅京成バス 1 番のりばから市川方面行に乗車約 20 分 和洋女子大前下車 徒歩 3 分

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
新入生オリエンテーション 入学式														
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	
奄美研修	奄美研修	奄美研修	新入生オリエンテーション				⑧④	⑨⑤	⑤⑤	⑨⑤	⑩⑤	⑤		
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	
1Q開始	①①	①①	①	②①	②①	①	15海の日	⑩⑤	⑪⑥	⑥⑥	⑩⑥	⑩⑥	補講日	
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	
③②	③②	③②	②	④②	④②	②	⑫⑥	⑬⑦	⑦⑦	⑬⑦	⑭⑦	⑦	補講日	
28	29	30						28	29	30	31			
	昭和の日	7/15 海の日 振替休日						⑭④	⑦	⑭は週2回授業 実施科目の補講日				
30							30							
創立記念日 10/14 スポーツの日 振替休日 憲法記念日 みどりの日														
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10	
こどもの日	振替休日	⑤③	③	⑤③	⑥③	③					④	⑦④	⑧⑤	
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	
⑥③	⑦④	④	④	⑦④	⑧④	補講日	山の日	振替休日						
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24	
⑧④	⑨⑤	⑤	⑤	⑨⑤	⑩⑤	⑤								
26	27	28	29	30	31		25	26	27	28	29	30	31	
体育祭	⑩⑤	⑪⑥	⑥	⑪⑥	⑫⑥									
2Q開始														
2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14	
⑫⑥	⑬⑦	⑦	⑦	⑬⑦	⑭⑦	補講日	卒業生発表							
9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21	
⑭④	⑦①	①①	①	①①	②①	①	敬老の日	学位記授与式						
16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28	
②①	③②	②	②	③②	④②	②	秋分の日	振替休日						
23/30	24	25	26	27	28	29	29	30	海外フレッシュマンキャンプは、9月末から10月上旬に実施予定					
④②	⑤③	③	③	⑤③	⑥③	補講日								

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
3Q開始																
6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11			
					①①	①①	⑦⑦	④④	⑦④	④④	⑧④	⑧⑤	⑤			
13	14	15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	17	18			
14スポーツの日	①①	②①	①	①	②①	③②	成人の日	⑨⑤	⑤⑤	⑤⑦	⑤⑤	17 準備日 3/20 春分の日 振替休日	18 大学入学 共通テスト			
20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25			
③②	④②	④②	②	④②	⑤③	③	大学入学 共通テスト	⑩⑤	⑩⑥	⑥⑥	⑥⑩	⑥⑩	補講日			
27	28	29	30	31			26	27	28	29	30	31				
14	③③	⑥③	③	③	⑥③	③	⑫⑥	⑬⑦	⑦⑦	⑦⑦	⑬⑦	⑬⑦	⑦			
2							⑭は週2回授業 実施科目の補講日									
3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8			
文化の日 瑞穂祭	振替休日 瑞穂祭	休講日 瑞穂祭 片付け日	④	⑦④	⑧⑤	⑤	⑭④	⑦④	⑭④							
10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15			
⑧④	⑨④	④	⑤	⑨⑤	⑩⑥	⑥			建國記念日							
17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21	22			
⑩⑤	⑪⑤	⑥	⑥	⑪⑥	⑫⑦	①										
24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29				
⑫⑥	⑬⑥	⑥	⑦	⑬⑦	①	補講日	天皇誕生日	振替休日								
4Q開始																
1	2	3	4	5	6	7	2	3	4	5	6	7	8			
⑭④	⑦④	⑭④	⑦	①①	①①	②										
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
②①	②①	②①	②	③②	③③	③③	9	10	11	12	13	14	15			
15	16	17	18	19	20	21	卒業生発表									
④②	④②	②	③	⑤③	⑤④	補講日	16	17	18	19	20	21	22			
22	23	24	25	26	27	28	⑥③	⑥③	③	③	③	③	③			
29	30	31						23	24	25	26	27	28	29		
							20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
							学位記授与式 春分の日									
31							<p><学事カレンダーの見方> 青色網掛け：月曜・木曜日の週2回授業 黄色網掛け：火曜・金曜日の週2回授業 無色：週1回授業</p>									

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	経営戦略論	奥寺 葵	後期・秋学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 軍事用語の「戦略」が企業経営の場に登場してから、これまで数多くの研究者やコンサルティングファームにより戦略の理論が体系化され、今や大企業を中心に戦略を策定し実行していくことは当たり前の世界となっている。
 戦略の役割は、企業の長期的な成長・発展を図る基本的方向性を指し示すことにある。戦略に企業の成長を図る機能を持たせ、その実現を目指す実行計画を作成することによって、はじめて企業の収益性を高めていくことが可能となる。企業経営は、自社のみの経営活動で完結できるものではなく、様々な経済的、社会的環境との関わり合いの中で事業を営んでいかなければならない。企業の成長・発展は、企業外部の経営環境の変化に適応してこそ図られる。なぜなら、時代が変われば市場も変わり、戦略手法も変わってくるからである。本講義は、特定の戦略要素に焦点を絞り細分化されている戦略の理論を、戦略の策定プロセスに沿った体系的な内容になっている。そして、現在の構造的環境変化を考慮し、内容的には伝統的な経営戦略論のフレームワークを広げる必要があると考え、創造性と社会性という視点から経営戦略論の内容を解説する。また、説明にあたってはケースを例示することによって理解を促し、経営戦略論の理論的かつ実践的講義となるようにする。
 以上のように、現実の姿を通じて生きた経営戦略を楽しく学ぶことが出来るようにする。学生の皆さんには、積極的な講義への「参加」が求められる。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 ①「経営戦略は何か」ということを理解すること（知識・理解）
 ②戦略策定プロセスに沿って「経営戦略の基本」を理解すること（知識・理解）
 ③企業が持続的に存続・成長していくための「成長戦略」を理解すること（知識・理解）
 ④企業が厳しい市場環境の中で競争優位を構築し持続させていくための「競争戦略」を理解すること（知識・理解）
 ⑤創造性と社会性という視点から経営戦略を理解し、説明すること（思考・判断・表現）
 成績評価の方法：試験（25%）＋中間試験（25%）＋授業内課題（25%）＋事前事後学修課題（25%）。

【教科書・参考書】
 教科書： レジュメを使用する。
 参考書： ・大滝精一、金井一頼、山田英夫、岩田智（2016）『第3版 経営戦略 論理性・創造性・社会性の追求』有斐閣アルマ、・井上晋海、大杉泰代、森宗一（2015）『経営戦略入門』中央経済社

【その他】・授業の特徴 経営戦略に関する実情を学ぶとともに研究論文のレビューを通じて専門的な知識の習得を目指す。経営戦略について考えていく中で、基礎的な事柄を学修するとともに論理的思考力を涵養することを通じ、社会規範意識・誠実さを学ぶ。
 ・履修上の注意：原則、PDFの講義ファイルと音声の講義ファイルを配布する。
 ・課題に対するフィードバックの方法：・毎回、授業内課題、事前事後学修課題を行い、次回の授業の初めに解説を行う。
 ・試験実施後に、解答に対するフィードバックを行う。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 ガイダンス&データベースの活用	事前学習： イメージの良い企業、イメージの悪い企業を事前に調べ、その理由を準備しておく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
2 経営戦略とは	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
3 経営戦略の基本Ⅰ～ミッション～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
4 経営戦略の基本Ⅱ～ドメイン～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
5 経営戦略の基本Ⅲ～環境・資源分析～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
6 中間試験、解説	事前学習： 授業で取り上げた内容について中間試験を行うので、授業でノートテイクした内容を整理し、まとめる。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
7 成長戦略Ⅰ～成長ベクトル～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
8 成長戦略Ⅱ～多角化～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
9 成長戦略Ⅲ～製品ポートフォリオ・マネジメント～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
10 競争戦略Ⅰ～業界の構造分析～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
11 競争戦略Ⅱ～競争の基本戦略～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
12 競争戦略Ⅲ～競争戦略の展開～	事前学習： 次回の授業で取り上げる内容について、関連する新聞記事を複数枚集め、読んでおく。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。
13 試験、解説	事前学習： 授業で取り上げた内容について試験を行うので、授業でノートテイクした内容を整理し、まとめる。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、自身が感じた重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	初級簿記Ⅱ	千葉 啓司	後期・秋学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 本講義は、簿記会計の初心者を対象に、各種専門科目を学ぶために必要不可欠な簿記の基礎知識を習得させることを目標とする。簿記会計は、企業が行う取引を記録する技術である。企業が行う取引を適切に理解するためにも簿記会計の知識は必要である。また、財産管理や営利企業の利益計算にも簿記会計は必要である。この様に取引の適切な理解、財産管理、利益計算等に不可欠な簿記会計の技術を解説する。なお、簿記会計には各種の資格試験があるが、これらの資格取得への導入としても役立つ。
 初級簿記Ⅱでは、主に、商品売買取引などの重要な取引の記録、決算整理について学ぶ。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 学修成果（達成目標）；企業において行われる基本的で重要な取引の仕組みとその記帳方法を理解すること。
 代表的な決算整理事項と決算手続を理解すること。
 成績評価の方法；授業への貢献度20%、13回目総まとめを含む課題内容評価80%を基準とした総合評価。
 「授業への貢献度」は課題の提出状況により、「課題内容評価」は、課題の成績による。

【教科書・参考書】
 教科書： 千葉商科大学会計学研究室編『レクチャー初級簿記第2版』中央経済社、2023年
 参考書：

【その他】履修上の注意；「初級簿記Ⅰ」から「初級簿記Ⅱ」にステップアップする形で授業内容が組まれている。必ず、「初級簿記Ⅰ」を修得したのちに「初級簿記Ⅱ」を履修すること。毎回の授業では、課題の提出が要求される。また、電卓（12桁）を用意しておくこと。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法；授業における課題は次回授業ないしはCUC PORTAL上でおこなう。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 約束手形、電子記録債権・債務	事前学習：テキスト第14章に再度取り組んでおくこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
2 貸付金・借入金、未収入金・未払金、立替金・預り金、仮払金・仮受金	事前学習：テキスト第15章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に取り上げられている債権・債務の意味の理解に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
3 貸倒と貸倒引当金	事前学習：テキスト第16章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に、差額補充法の理解に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
4 固定資産	事前学習：テキスト第17章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に取得原価の算定に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
5 減価償却	事前学習：テキスト第18章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に減価償却費の計算方法に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。
6 株式の発行・剰余金の配当と処分	事前学習：テキスト第19章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に剰余金の処理に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
7 その他の収益と費用	事前学習：テキスト第20章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に売上以外の収益に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
8 収益・費用の前受け・前払いと未収・未払い	事前学習：テキスト第21章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に月割計算に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
9 証ひょう	事前学習：テキスト第22章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に証ひょうから取引を読み取ることに重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
10 消費税と法人税	事前学習：テキスト第23章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に税金の仕組みに重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
11 決算の全体像	事前学習：テキスト第24章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に試算表から精算表に至る流れの理解に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
12 財務諸表	事前学習：テキスト第25章に目を通し、概要を把握しておくこと。特に、財務諸表の表示方法に重点を置くこと。事前確認にはおおよそ1.5時間を要する。 事後学習：授業内容をテキスト、授業用資料を参照して、重要事項の理解を深めること。事後学修にはおおよそ2時間を要する。
13 総まとめ	事前学習：これまでの学修を総チェックしておくこと。事前確認にはおおよそ3時間を要する。 事後学習：総まとめ授業で理解が十分でない点を振り返ること。事後学修にはおおよそ30分を要する。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	情報数学	久保 誠	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>情報を処理、表現、加工する過程で問題点の列挙、論理的思考、組み立て、判断などが重要である。そのために、数学的な基礎知識である数、集合、関係、論理などの概念を、具体的な例を通じて理解する。さらに、コンピュータを利用した基本処理（アルゴリズム）として、整列および探索のアルゴリズムの基本を理解する。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果（達成目標）： 情報やコンピュータに関わる数学的な基礎知識である数、集合、関係、グラフの概念および論理の基本概念を理解することである。これらを利用した問題はSPIなどにも関係があるので簡単な問題を解ける段階まで来っていると良い。情報処理やプログラミングのような科目に関わる基本知識でもあるので、そのためにも正しい理解が必要である。</p> <p>成績評価の方法： 試験実施の場合は、最終回に実施する試験の点に毎回授業時にだす小課題の評価を加える。試験未実施の場合は、各課題の割合は、課題数で等分に分割される。</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 適宜資料をportalで配布する。 参考書： 特になし。</p>						
<p><small>【その他】履修上の注意：毎回授業時に小課題を与える予定であるが、可能であれば授業時間中、場合によっては一定の期間(3-5日程度)にUIC Portalで課題を提出する方式で行う予定である。質問については、授業での対面での質問以外に、portalのQ&Aの機能やMicrosoft Teamsでの質問受け付けなども検討している。第1回に実施方法について説明する予定である。対面授業ではあるが、ノートPCを使って課題を提出する形になるので、授業時課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：課題の正答等は、課題提出後に提示するので、自己採点ができる。</small></p>						

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 情報の列挙（数え上げ、集合）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。</p>
2 情報と情報のつながり（関係）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
3 情報を順番に並べる（順序、数列）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
4 情報の論理的構成法（最大最小、木）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
5 情報の広いつながり（グラフ、ネットワーク）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
6 計算（アルゴリズム、計算機、論理）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
7 繰り返しと再帰的構造	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
8 論理的な計算や組み合わせ（命題論理）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
9 情報に基づく局面での判断（述語論理）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
10 論理的推考とその限界（形式系とその性質）	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
11 論理回路と計算機	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
12 整列および探索アルゴリズム	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>
13 その他の数学的知識あるいは授業時試験	<p>事前学習： Web上に公開した授業資料等を事前に閲覧した上で準備する。</p> <p>事後学習： 授業内容を理解した上で、練習課題への準備をしておく。授業内で行った練習課題についても復習しておく。</p>

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	情報科学概論 【オンデマンド】	小林 直人	後期・秋学期	選択	講義	2

【授業のねらい】

この授業科目では、コンピュータの仕組みや構成要素などのテクノロジーとその社会における活用方法や事例、そして情報セキュリティ、情報倫理に関する内容について学ぶ。具体的には、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、電子メールやWWWなどのインターネットサービスやLANなどに関する知識を理解する。また、企業など組織の業務でコンピュータを利用する場合の情報システムの活用方法や事例、最新のテクノロジーについて学ぶ。更に、情報セキュリティにおける脅威やリスク、対策と関係法令など情報社会のコンプライアンスに関する知識を身に付ける。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果(達成目標)：
 ・情報のデジタル化について理解する。 ・コンピュータの基本構成(五大装置)を理解し説明、例示ができる。
 ・ソフトウェアの種類(OS、アプリケーション、ミドルウェア)を理解し例示できる。 ・情報システムの開発から保守運用に至る概略や事例を理解する。
 ・ネットワーク及びネットワークサービスの基本的な仕組みや用語を理解する。 ・ICTに関する最新の内容や事例を理解する。
 ・情報セキュリティの脅威やリスク、対策の内容や手法を理解する。 ・エンドユーザとして安全なインターネット利活用のための注意すべき点を理解する。
 ・情報社会における関係法令に関する概略を理解する。 ・情報社会における倫理観を身に付ける。

成績評価の方法： 毎回の教材視聴および出席課題 22%。
 用語確認課題24%。小レポート24%。確認テスト15%。期末課題15%
 後日配点を調整することがある。その場合は授業資料内で説明する。

【教科書・参考書】

教科書： 栢木厚『令和06年 イメージ&クレーパー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室』技術評論社、2023
 参考書： 授業動画をCUC PORTALクラスプロフィール「コース学習」により配信する。その他の授業資料もCUC PORTALにて配布する。

【その他】履修上の注意：本授業はオンデマンド形式で実施する。その目的は「情報技術を独力で学ぼうとする」ことである。「楽に受講できる」という理由での履修は推奨しない。
 毎回の資料公開は原則として日曜日13:00とし、課題提出締切は土曜日23:59までとする。また第4回、第9回、第12回に受験時間が指定された確認テストを実施する。試験時間は10分、受験時間は水曜日9:00~20:00もしくは土曜日9:00~13:00のいずれかとする(変更の可能性あり)
 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：課題については振り返りをしながら解説を行う。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 ガイダンス、情報科学とは	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
2 インターネットの仕組み	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
3 ルータの役割、WWW	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
4 確認テスト①と振り返り ネットワークプロトコル、暗号化技術	事前学習： 第1回から第3回の範囲の復習。 事後学習： 授業資料と教科書により予習と復習を行う。
5 コンピュータの仕組み(ハードウェア) 入出力装置	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
6 記憶装置(メモリとストレージ)	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
7 コンピュータの歴史 ソフトウェアの種類とOSの役割	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
8 情報のデジタル化とデータ形式	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
9 確認テスト②と振り返り データ圧縮	事前学習： 第5回から第8回の範囲の復習。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
10 情報システムとその開発	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
11 情報セキュリティと情報倫理	事前学習： 授業資料と教科書により予習を行う。 事後学習： 授業資料と教科書により復習を行う。
12 確認テスト③と振り返り サイバー攻撃とその対策、エンドユーザーとしてのネット ワークリテラシー、ネットワークセキュリティ	事前学習： 第10回から第11回の範囲の復習。 事後学習： 授業資料と教科書により予習と復習を行う。
13 期末課題と振り返り	事前学習： 第1回から第12回の範囲の復習 事後学習：

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	都市政策・計画論	榎戸 敬介	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>本授業では、都市の発展に取り組んできた都市政策・計画の概念、歴史、役割、手法、制度、主体等について国内外の具体事例を通して学ぶ。特に、都市環境・空間づくりの思想・技術としての都市デザインの観点から、持続可能性と競争力を持つ都市づくり、都市再構築について学ぶ。各種文献やビジュアル教材、ディスカッションによる事例学習を重視し、抽象的思考と具体的思考の力を養う。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果(達成目標)： 都市政策・計画に関する幅広い教養とセンスそして批判力を養い、問題発見、課題設定、立案能力を修得する。さらに、都市づくりに関する研究や実務、参加のための力を身につける。</p> <p>成績評価の方法： プレゼンテーション(20%)、提出物(40%)、最終レポート(40%)</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 適宜指示する 参考書： 適宜指示する</p>						
【その他】 授業の特徴：都市計画、都市デザイン及び都市開発における実務経験を活かし、現代都市の再構築に影響を与える政策・計画について、環境・空間デザインの視点から具体事例を基に授業を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： Portal上で各自にコメントを返す。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション：都市計画の学び方と学びの目標について理解する。	<p>事前学習： 事前にシラバスを読み、講義の全体像を理解しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、用語、概念、事例などともに自分で気がついた点、興味をもった点、不明な箇所などについて学修ノートを作成すること。</p>				
2	都市の問題と計画：都市問題に対する計画的対応について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
3	近代の都市計画の系譜#1：産業革命から20世紀初頭までの都市計画について歴史的に概観し、都市計画の発展について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
4	近代の都市計画の系譜#2：20世紀初頭から現代までの都市計画について歴史的に概観し、都市計画の発展について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
5	持続可能な都市：持続可能な都市づくりを目指す都市計画について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
6	土地利用計画：都市空間を規定する土地利用計画の効果と制度について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
7	建築と都市：都市を形成する建築物の計画について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
8	都市の交通システム：多様な都市交通の役割と課題について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
9	都市と防災：災害に強い都市計画および災害復興の都市計画について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
10	都市計画制度の体系：都市計画の制度について理解する。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
11	都市を再生する：都市の中心部で進む都市再生の試みについて学ぶ。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。不明な点を解決できたかどうか確認すること。</p>				
12	学生発表：具体的な都市の計画課題と計画的対応について発表する。	<p>事前学習： 発表内容を完成し、発表練習を行っていくこと。</p> <p>事後学習： 自己の発表について良かった点、改善すべき点について整理しレポート形式にまとめること。</p>				
13	まとめ：今後の都市計画の行方について学ぶ。	<p>事前学習： 指定された教材を読み、基本的な用語や概念について確認しておくこと。また、不明な点についても質問できるように整理しておくこと。</p> <p>事後学習： 講義内容を再確認し、本日の内容について学修ノートを作成すること。</p>				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	環境社会学	平原 隆史	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 環境問題は、科学や技術の問題と同時に、社会や経済のシステムの影響を大きく受けている。だから問題解決のためには、科学技術による解決や、税や補助金などによる経済的な解決だけでなく、我々が日常生活の中で知らないうちに環境に与えている影響、つまり、社会活動がどのように環境問題に影響を与えているのかについて知ることも重要である。こうした問題を踏まえて、講義では環境社会学を中心として関連領域を学びながら、環境問題と社会の関わり、環境問題の国際的な捉え方の違い、代表的な分析方法を講義し、環境社会学の基本的なものの見方を習得する。前半は環境と社会の関わりを国際的に比較し、歴史的な環境問題を論じ、後半では環境社会学の基本的な概念を論じる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 学修成果(達成目標)： 講義では、基本的な環境問題と社会学、経済学などとの関わりを論じている。この基本的な学術的なメカニズムの理解は最低限必要であり、この理論を元に現実の環境問題に応用できる能力を獲得することを到達目標とする。 成績評価の方法： 授業の理解度を問う講義各回の課題(100%)。						
【教科書・参考書】 教科書： 講義中に必要に応じ指示する。 参考書： 「環境社会学-生活者の立場から考える」鳥越皓之 東京大学出版会(2004)						
【その他】 履修上の注意： 受講する学生は、講義をただ理解するだけでなく、ここで得た知識を基に、環境問題や社会問題をどのように考えるかなど、自分のものの見方を鍛えてほしい。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 基本的に講評を通じて評価をフィードバックする。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション — 人間社会と環境問題、途上国の現状	事前学習： 自分の社会と環境に関する関心を整理し、どのような関係があるかをまとめて初回講義に臨むこと。 事後学習：				
2	社会問題としての環境問題(1)：日本	事前学習： 日本における環境問題の歴史をまとめ、自分の関心との関連を比較し整理すること。 事後学習：				
3	社会問題としての環境問題(2)：アメリカ	事前学習： アメリカにおける環境問題の歴史をまとめ、自分の関心との関連を比較し整理すること。 事後学習：				
4	社会問題としての環境問題(3)：ヨーロッパ	事前学習： 欧州における環境問題の歴史をまとめ、自分の関心との関連を比較し整理すること。 事後学習：				
5	日・米・欧での自然環境の捉え方の比較	事前学習： 日米欧の自然観の違いとその社会的影響をまとめておくこと。 事後学習：				
6	歴史的環境とその評価(1) 理論編	事前学習： 歴史的環境の議論から、自分の住んでいる地域の歴史的環境の状況を把握し整理すること。 事後学習：				
7	歴史的環境とその評価(2) 事例研究	事前学習： 自分の住んでいる地域の歴史的環境を活かして、地域の再生や振興が図れるか提言をまとめる。 事後学習：				
8	社会的ジレンマと共有地の悲劇(1) 囚人のジレンマ	事前学習： 囚人のジレンマをはじめとした社会的ジレンマを特徴から類型化し、自分の周りにおける問題を各種モデルから説明すること。 事後学習：				
9	社会的ジレンマと共有地の悲劇(2) 共有地の悲劇	事前学習： 社会的ジレンマが発生させる環境問題や社会問題に対して、効果的な解決策を考案する。 事後学習：				
10	言い分とNIMBY問題	事前学習： 自分の関心のある問題での、各種立場から論じられる言い分をできる限り収集し、特徴によって類型化すること。さらにまとめた言い分を、立場の違いから再整理し、これら言い分を満たす解決策が存在するか考案すること。 事後学習：				
11	受苦圏と受益圏(1) なぜ受苦と受益なのか?	事前学習： 自分の関心のある社会問題や環境問題を受苦-受益モデルから整理し、まとめておくこと。 事後学習：				
12	受苦圏と受益圏(2) 関連領域との比較	事前学習： 受苦と受益を埋めるための手法のうち、自分が関心を持つ問題はどのような手法を選択すべきか、理由を含め考察すること。 事後学習：				
13	途上国の環境問題 — 新興工業国と低開発国	事前学習： 途上国と先進国の環境問題の違いをまとめ、図表化して整理すること。 事後学習：				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	色彩学【リアルタイム】	箕原 辰夫	後期・秋学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 この講義では、色についての科学的な知識や、人間の色彩に関する視覚・認識についての知識、および色彩調和論に基づく配色方法について学びます。色の科学的知識の側面においては、表色系の原理を説明するために数学も用いますので、「数学基礎」などの科目で基礎的な数学的な知識も予め学んでおいてください。教科書とスライドを主体とし、色に関してはディスプレイに投影する形態の講義です。スマートフォンやWebのアプリケーションを使った配色や色彩補正の実習を行ないます。カラーコーディネータアドバンスドクラス・スタンダードクラス、色彩検定1級～3級、および色彩士検定の資格取得の対策科目にもなっています。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 学修成果(達成目標)： カラーコーディネータ検定、色彩士および色彩検定の取得が可能になるように、「色彩科学」の部分を中心に講義を行ないます。また自分の作品や色彩デザインを評価するための手法であるSD法が使えるようになることを目標の一つに含めます。
 成績評価の方法： 毎回の授業時に出される課題60%と最終試験40%で評価します。

【教科書・参考書】
 教科書： 「カラーコーディネータ入門 色彩(改訂増補版)」大井義雄・川崎秀昭 日本色研事業 講義スライドは、Microsoft Teams上で配布します。授業のWebページ (<http://www.cuc.ac.jp/minohara/lecture/icolor/>)
 参考書： 「カラーコーディネーション第2版」東京商工会議所 東京商工会議所「カラーコーディネーションの基礎第3版」東京商工会議所 東京商工会議所「色彩科学入門第2版」日本色研研究所 日本色研事業

【その他】 履修上の注意： 色彩科学や色彩関係の資格取得に興味がある人のためにあります。教科書は必須なので履修する人はすぐに購入して下さい。必ず第1回目から出席して下さい。各授業中に、簡単な授業時課題をオンラインで提出してもらいます。オンラインでの授業方式で、ライブ音声で配信+画面共有 (Teams等の会議システム利用)の授業形態になります。授業資料は、授業前にTeamsの該当チームにアップロードします。また、授業後に録画を公開します。毎回、授業時課題を提出してもらいますが、正答公表後は遅延提出ができなくなるので注意してください。最後に配色デザインをしてもらい、他者にSD法を用いたアンケートをして評価してもらいます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 授業時課題については、次の授業回で講評します。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 色彩と波長	事前学習： 波長と周波数、分光分布について予習と復習をして下さい。 事後学習：
2 視覚と色彩	事前学習： 錐体・桿体の特性について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
3 基本色名と系統色名	事前学習： JIS/マンセルの系統色名とその省略記号について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
4 マンセル/JIS表色系	事前学習： マンセル値について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
5 PCCS表色系	事前学習： PCCSのトーン表記法について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
6 オストワルト表色系とNCS表色系(実習を含みます)	事前学習： オストワルトの表色系の表記法・NCS表色系の表記法から、白色含有量・黒色含有量・完全色(純色)含有量の比率を求められるように予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
7 CIE XYZ表色系	事前学習： CIE XYZ表色系のxy色度図について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
8 CIE L*a*b*表色系(実習を含みます)	事前学習： CIE Lab表色系において、2つの色の色差を求められるように予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
9 色の再現・混色・カラーマネジメント・照明	事前学習： RGBによる加法混色とCMYによる減法混織について、分光分布のグラフを描けるように予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
10 色彩の知覚・色彩と文化・色とイメージプロファイル	事前学習： 色彩の知覚効果について、その名称とどのような効果が起こるのかを予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
11 SD法による色彩デザインの評価	事前学習： 心理的尺度の作り方、およびSD法を用いた加重平均による色のイメージ・プロファイルの方法について予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：
12 配色技法(実習を含みます)	事前学習： トーンオントーン配色やトーンイントーン配色などの配色技法について、その名称と配色の方法の違いについて理解し、自分で配色ができるようにしてください。 事後学習：
13 色彩調和論と色彩計画 配色デザインの発表とSD法による評価(実習を含みます)	事前学習： ムーン&スペンサーの配色における美度の計算方法について、予習と復習をしておいて下さい。 事後学習：

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	スポーツ・エンターテインメントサービス論	仁平 京子	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
講義では、スポーツをはじめ、映像、音楽、演劇、演芸、アミューズメント、アトラクションなどのさまざまな「エンターテインメント」を題材にし、消費者に関わる「エンターテインメント・サービス」について、スポーツを中心にしながらビジネス構造、歴史と時代背景などを把握しながら、現代のエンターテインメント・サービス・ビジネスに関わる課題解決や今後のビジネスの可能性を考察する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
学修成果(達成目標)・・・スポーツ・ビジネスやエンターテインメント・ビジネスを顧客の立場で楽しむだけでなく、サービス提供者である企業側から捉える。 ・サービス創造やエンターテインメントの発想から、クリエイティブな発想力を身につける。						
成績評価の方法： 具体的な授業の到達目標にあげた項目を身につけたかどうか、授業内試験や授業時レポートを通じて確認する。 ・授業内試験：60%・授業時レポート：30%（授業時レポートの内容と提出率）・授業への貢献度：10% （授業時レポートの課題提出、授業内のディスカッションの参加などに対する意欲）						
【教科書・参考書】						
教科書： 参考書： 必要に応じて、講義内で適宜紹介する。						
【その他】 履修上の注意： スポーツ・ビジネスやエンターテインメント・ビジネスを顧客の立場で楽しむだけでなく、サービス提供者である企業側から捉える。 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法： 講義内・CUC PORTALを通じて実施する。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	スポーツ・エンターテインメント・サービスの概念の定義	事前学習： 本講義に関するシラバスをよく読んでくること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
2	スポーツ・ビジネスにおけるスポーツマンシップの思考の重要性	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
3	エンターテインメント業界／エンターテインメント・サービスの概念の定義と事例	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
4	スポーツビジネスの定義／スポーツ産業の全体構造、市場規模	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
5	スポーツ・ビジネスのステークホルダーとは何か	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
6	スポーツ・エンターテインメントにおけるメディア戦略とアジェンダ設定機能	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
7	スポーツ・マーケティングと日本のスポーツビジネスの歴史と現状	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
8	スポーツマネジメントにおけるクラブ経営	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
9	フィールドマネジメントにおけるアスリートの強化と育成	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
10	オリンピックの変遷とオリンピック・ビジネス／アンブッシュ・マーケティング	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
11	エンターテインメント・ビジネスの今後の可能性	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
12	スポーツ・エンターテインメント・ビジネスの再考	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				
13	授業のまとめと講評	事前学習： 前回授業で示された事前学修内容に基づき、準備をすること。 事後学習： 授業で学び、議論した点について、重要だと感じた事項、他者の多様な考え方、新たな気づきなどを抽出し、その内容等を整理する。また、提示された課題については指定日時までに提出する。				

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	物流サービス論	大下 剛	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>本講義は、物流業界で展開されるサービスに関する知識を学ぶ。 商品のコモディティ化が進む中で、物流サービスの重要性が高まっている。 物流業界の特徴を理解するとともに、様々な物流サービスの経済性と、その理論的な背景について学習する。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果(達成目標)： 物流業界の全体像および個別企業の行う事業の意義・理由を理解する。 物流サービスの特徴およびイノベーションとの関連について理解する。 物流業について、具体的客観的事実に基づき、自分の考えを伝えることができる。</p> <p>成績評価の方法： 各回の取り組み(各授業で課される課題)：40% 授業への積極的な態度：5% 最終課題(レポート)：55%</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 特に指定しない 小倉昌男(1999)『小倉昌男 経営学』日経BP、マルク・レピンソン著、村井章子訳(2019)『コンテナ物語-世界を変えたのは「箱」の発明だった-【増補改訂版】』日経BP社、ロジ・ソリューション株式会社(2021)『物流業界のしくみとビジネスがこれ1冊でしっかりわかる教科書』技術評論社、大下剛(2021)『オムニチャネル小売業のロジスティクス統合』同友館</p>						
<p>【その他】 履修上の注意： マーケティングおよび流通論に関する基礎的な知識を有するのが望ましい。 授業ではゲストスピーカーを招へいするため、履修者の意見を求めたり、質問を受けるなど双方向的な要素を取り入れる。 各授業に対して授業時間を提示する課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 授業時レポートについては、次回講義にフィードバックを行う。</p>						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1 イントロダクション 社会において物流サービスが必要となる背景を理解する。 流通と物流の関係を理解する。 物流業界の2024年問題について理解する。				事前学習： シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
2 物流サービス① 物流業界の分類・特徴について理解を深める。 物流業界によって異なるサービスの特徴について理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
3 総合物流業のマーケティング・サービス展開 ゲストスピーカーの講義をもとに、運送業や倉庫業の特徴を理解する。 総合物流業の意義や物流事業者のSDGsの取り組みについて理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
4 鉄道貨物業界のマーケティング・サービス展開 ゲストスピーカーの講義をもとに、鉄道貨物業界の特徴を理解する。 陸運業界のマーケティングおよびサービス展開について理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
5 国際物流業のマーケティング・サービス展開 ゲストスピーカーの講義をもとに、海運業界や航空業界の特徴を理解する。 国際物流業のマーケティングおよびサービス展開について理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
6 物流サービス② 物流業界のサービスにおける理論的な背景を学習する。 物流サービスと他のサービスの違いを理解する。 サービス創造の事例を踏まえて、物流業界におけるサービス創造に関する考察を深める。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
7 小売業の物流サービス ゲストスピーカーの講義をもとに、小売業の物流サービスについて学習する。 小売業にとっての物流の重要性に対する理解を深める。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
8 物流産業を支える物流不動産のサービス展開 ゲストスピーカーの講義をもとに、物流不動産業界の特徴を理解する。 物流施設は企業のロジスティクス戦略、トラックドライバー不足、環境問題、地域共生とどのように関わっているか理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
9 物流産業における標準化・規格化 ゲストスピーカーの講義をもとに、物流業界における一貫パレチゼーションについて理解する。 物流業界における標準化・規格化の意義を理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
10 物流サービス③ 物流業界の標準化・規格化に関する歴史を理解する。 標準化・規格化が必要となる理論的な背景を学習する。 物流業界のプラットフォームおよびデジタルトランスフォーメーションについて、理論的な背景を踏まえながら理解を深める。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
11 物流業のコンサルティング・サービス ゲストスピーカーの講義をもとに、製造業・流通業における物流改善の方法について理解する。 企業経営におけるロジスティクス戦略の重要性について理解する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
12 物流サービス④ 講義全体を通じて、改めて物流業界のサービス展開について、その理論的な背景を含めて学習する。 今後の物流業界におけるサービス展開について議論する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 授業内容の要点を踏まえた再確認を行う。		
13 講義全体のまとめと最終課題を提示する。				事前学習： 質問事項をまとめておく。 事後学習： 講義全体の内容を復習する。		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	まちづくり論	猪熊 ひろか	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>本講義では、住民を中心とした活動である「まちづくり」について、事例を用いて分析・考察する。そのために、まず、まちづくりの系譜（都市計画論、住民運動・活動論）について解説する。そのうえで、地域活性化とまちづくり、都市とまちづくり、社会的包摂とまちづくり、の3つの領域から、「まちづくり」について事例を用いて考察を深める。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果（達成目標）：「まちづくり」をめぐる様々な社会的諸問題と諸関係について、事例を用いて考察する。</p> <p>成績評価の方法：授業内に実施する小テスト：50% 授業内に実施する小レポート：50% CUC PORTALの小テスト機能・課題提出機能を用いて、小テスト・小レポートを課す。各回の配点は授業資料を参照のこと。それらの点数の合計で評価する。受講者の状況により、小テストと小レポートの実施方法その他を変更する可能性がある。</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 受講者の状況により、授業内で指示する。</p> <p>参考書： (1) 新雅史, 2012, 『商店街はなぜ滅びるのか』, 光文社。 (2) 古川孝順・庄司洋子・三本松政之編, 1993, 『社会福祉施設一地域社会コンフリクト』誠信書房。 (3) 岩田正美, 2008, 『社会的排除—参加の欠如・不確かな帰属』有斐閣。 (4) 前田正子, 2017, 『保育園問題—待機児童、保育士不足、建設反対運動』中公新書。 (5) 三井さよ, 2021, 『ケアと支援と「社会」の発見—個のむこうにあるもの』生活書院。 (6) 日本建築学会編, 2004, 『まちづくりの方法』, 丸善株式会社。 (7) 似田貝香門他編著, 2008, 『まちづくりの百科事典』, 丸善株式会社。 (8) 震災がつなぐ全国ネットワーク編, 2013, 『寄り添いからつながりを。—2,000人の足湯ボランティアが聴いた16,000の心の声—』震災がつなぐ全国ネットワーク。</p>						
【その他】						
<p>授業の特徴：「まちづくり」をめぐる様々な社会的諸問題と諸関係について学び、専門的な知識の習得を目指す。</p> <p>履修上の注意：【小レポートについて】本授業では、各自が調べたり考えたりした内容をCUC PORTALを用いて提出（小レポート）する。提出された内容は学籍番号・氏名を除いた状態にした上で、履修者間で共有する予定である。</p> <p>【質問・感想について】返答を必要とする質問は、授業Q&Aを用いること。授業への感想等は、小レポート内ではなく「コメント」欄に記入のこと。※質問・感想等のうち、共有する必要がある内容については、配信する授業資料内に転載（個人を特定できないようにしたうえで）する場合がある。</p> <p>課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：小テストは、終了後に解答・解説を確認できるよう設定し、必要に応じて解説を実施する。小レポートの内容は、必要に応じて学籍番号・氏名を除いた状態にした上で履修者間で共有し、解説する。</p>						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1 まちづくりとは				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
2 まちづくりの系譜①都市計画				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
3 まちづくりの系譜②住民活動				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
4 地域活性化①大学周辺地域（国府台地区、市川真間地区）				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。		
5 地域活性化②SNSを活用した地域広報				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。		
6 地域活性化③TDR・USJのパーク設計と周辺地域				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。		
7 地域活性化④地域資源の創造と活用				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
8 都市①保育園建設反対運動（世田谷区太子堂地区・杉並区久我山東原公園）				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。		
9 都市②公園のあり方（インクルーシブ公園・長野市青木島遊園地）				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。		
10 都市③津波減災				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
11 社会的包摂①CSW・UDWS				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
12 社会的包摂②震災復興（足湯ボランティア・椿油プロジェクト）				事前学習： 授業で取り上げる内容について、関連する文献や新聞記事を読む。 事後学習： 小テストに備える。		
13 総括・調査法				事前学習： これまでの授業で取り上げた内容について、意見をまとめる。 事後学習： 授業で取り上げた内容について、重要事項やキーワードを抽出し、その内容を整理する。		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	観光社会学	藤井 紘司	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>本講義では、国内のフィールド研究から誕生した生活環境主義の立場から観光社会学を構想する。基本的な問題関心は「漂泊者」と「定住者」とのかかわりにあり、事例研究をベースとし、地域社会と「漂泊者」との合力の可能性を探求する。講義の後半（10-13）では、自治体の移住促進政策と観光協会等の観光戦略との相互連関を点検するPBL（課題解決型学習）を実施する。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の動態を「漂泊」と「定住」という観点から把握する。 ・内発的発展論やパートナーシップ的発展論について理解を深める。 ・地域研究の基礎的なスキルや分析視点、ライフヒストリー分析の手法を習得する。 <p>成績評価の方法：・リアクションペーパーなど（30%）・中間レポート（20%）・プレゼンテーション（50%） ※受講者に、①リアクションペーパー（200字以上）×9回、②プレゼンテーションの感想（400字以上）×2回、③中間レポート（1,600字以上）、④プレゼンテーション用の動画の提出をもとめる。</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： とくに指定なし。 石牟礼道子（2012）『食べごしらえおままごと』中央公論新社、岩瀬政夫（1999）『水俣巡礼：青春グラフィティ'70'72』現代書館、鶴見和子（1977）『漂泊と定住と：柳田国男の社会変動論』筑摩書房、宮本常一（1967）『日本の中央と地方』（宮本常一著作集・第2巻）未来社、宮本常一（2014）『旅と観光：移動する民衆』（宮本常一講演選集・第5巻）農山漁村文化協会、素樹文生（1998）『上海の西、デリーの東』新潮社</p>						
【その他】						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：適宜、講評およびコメントをつける。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス：「漂泊」と「定住」と	事前学習： シラバスを読む。		事後学習： 講義内容を整理する		
2	水俣学Ⅰ：不知火海の近代	事前学習： 『水俣巡礼』を読む。		事後学習： 講義内容を整理する。		
3	水俣学Ⅱ：水俣の甘夏	事前学習： 『食べごしらえおままごと』を読む。		事後学習： 講義内容を整理する。		
4	水俣学Ⅲ：風土とグリーン・ツーリズム	事前学習： 地元学とは何か調べておく。		事後学習： 講義内容を整理する。		
5	定住Ⅰ：内発的発展論	事前学習： 内発的発展とは何か調べておく。		事後学習： 講義内容を整理する。		
6	定住Ⅱ：大規模リゾートと内発性	事前学習： パートナーシップ的発展とは何か調べておく		事後学習： 講義内容を整理する。		
7	漂泊Ⅰ：旅とアイデンティティ	事前学習： 『上海の西、デリーの東』を読む。		事後学習： 講義内容を整理する。		
8	漂泊Ⅱ：島ガールのちから	事前学習： ライススタイル移住とは何か調べておく。		事後学習： 講義内容を整理する。		
9	「漂泊」と「定住」と：新規移住者と離郷者が残したもの	事前学習： 『旅と観光』を読む		事後学習： 講義内容を整理する。		
10	〔離島点検の準備①〕：データ整理など	事前学習： フィールドを選定する		事後学習： 情報を収集する。		
11	〔離島点検の準備②〕：スライドの作成など	事前学習： 発表スライドの原案を構想する。		事後学習： 発表スライドを作成する。		
12	〔プレゼンテーション〕：前半	事前学習： プレゼンテーションの練習をする。		事後学習： 受講者のプレゼンテーションを講評する。		
13	〔プレゼンテーション〕：後半	事前学習： プレゼンテーションの練習をする。		事後学習： 受講者のプレゼンテーションを講評する		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	アジアの経済と社会	NGUYEN Thuy	後期・秋学期	選択	講義	2

【授業のねらい】
 本授業では近年、日本経済にとって重要性を増しているアジアの経済社会を念頭におきながら、世界の主要課題となっている貧困問題を議論する。世界の貧困問題は、「誰一人取り残さない」ことを原則とし、実践を重視する持続可能な開発目標（SDGs）にある17の目標の最初にあげられており、いまや先進国、発展途上国すべてがその解決にむけて取り組んでいくべき問題とされている。また、経済・社会面において多様で、先進国、中進国、貧困国が含まれるアジア地域を対象として貧困問題を考える。具体的に、1) 貧困の概念や捉え方、2) 政府開発援助などの役割（特にアジア向け支援が多い日本の事例）、3) アジアにおいて貧困削減に成功した国であるベトナムの事例、などをとりあげ上記の問題にアプローチする。
 2020年以降、COVID-19のパンデミックにより世界の経済活動が抑制され、私たちの生活も大きく変化した。こうした状況の中でのアジア経済・社会の展望についても貧困という観点から議論していきたいとも考える。

【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】
 学修成果（達成目標）：①アジアの経済（高所得国、中所得国、低所得国など）、社会（宗教、民族など）の多様性を理解し、経済発展の光と影について適切な議論を行うことができる。
 ②アジアの発展途上国の経済発展に対する日本の役割について考え、日本とアジアの関係について理解し考えることができる。
 成績評価の方法：授業への貢献度：30% グループワークにおける貢献度：30% 提出物（最終レポートや各回の発表資料など）：40%

【教科書・参考書】
 教科書： 特定の教科書は指定しない。必要な資料は、適宜配布する。
 参考書： 1. 渡辺利夫（編）（2019）『アジア経済読本 第4版』東洋経済新報社。2. 末廣昭（2014）『新興アジア経済論』岩波書店。3. トラン・ヴァン・トゥ（2010）『ベトナム経済発展論-中所得国の異と新たなドイモイ』勁草書房。4. 坂田正三（2017）『ベトナムの『専業村』-経済発展と農村工業化のダイナミズム-』アジア経済研究所。5. Chambers, R. (1983) Rural Development: Putting the Last First. Essex: Longman Scientific & Technical (穂積智夫・甲斐田万智子（訳）『第三世界の農村開発-貧困の解決：私たちにできること-』明石書店）。6. SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？ 17の目標ごとの説明、事実と数字 | 国連広報センター (United Nations) (2021年2月5日閲覧)

【その他】授業の特徴：本講義では授業各回に関連する質問を提供し、各グループで議論、発表してもらう。こうした学生間の議論等を通し専門的、普遍的な知識・技能を培う。またグループワークを通し、問題を自ら見出す姿勢を重視することで、相互理解・コミュニケーション力を育成する。
 履修上の注意：毎回の授業への貢献度が重要である。また授業各回の内容について関連する質問を提供し、各グループで議論してもらうため、積極的な発言が望ましい。授業資料のみならず参考文献の確認や自主的な学習を強く勧める。
 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：授業各回におけるグループワークについては学生同士の意見交換による情報共有とともに教員からのコメント・解説を各グループに与える。グループ内で意見を伝えきれない場合、Teams、CUCポータル、メールなどで送ってもらった学生については、教員からのコメント・解説を一人ひとりにフィードバックをする。優れた意見内容については次の授業の最初に参加者全員に共有、議論する。
 最終レポートについては、解説の付与とともに全体の回答傾向（興味深い内容、独創的な内容があった場合はそれらの紹介も含む）をまとめて講評し授業資料として提供する。

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】
1 オリエンテーション-授業の目的、計画、進め方等について-	事前学習： シラバスを手元に準備し不明な点がないか確認する。 事後学習： 授業で説明した内容について興味のあるキーワードを調べ整理する。
2 統計データから見るアジア	事前学習： 味のあるアジアの国をひとつ選びインターネットでGDP、人口など基礎データを確認しておく。 事後学習： 授業での議論をもとにアジアの国々に存在する問題点を整理する。
3 アジアの社会・経済発展に資する開発政策および開発戦略	事前学習： アジアの工業化戦略（輸入代替工業化、輸出志向工業化）について調べておく。 事後学習： アジアの工業化戦略が貧困・格差に与えた影響をまとめてみる。
4 アジアから見た経済成長の光と影-中国、ベトナム事例から-	事前学習： 新興国とはどのような国か新聞などで調べてみる。 事後学習： 新興国が直面する問題とその原因についてまとめてみる。
5 アジアの経済成長と貧困の実態	事前学習： 「貧困削減に資する経済成長」とはどのようなものか考えてみる。 事後学習： アジアの経済成長が貧困削減に対しどのように貢献してきたかまとめる。
6 SDGsの時代におけるアジアの開発の現実	事前学習： SDGsの17の目標について確認しておく。 事後学習： SDGsの17の目標のうちアジアの国々の進捗状況をまとめてみる。
7 アジアにおける貧困の原因とその背景	事前学習： 貧困の原因として何が考えられるか自身の意見をまとめてみる。 事後学習： 貧困の異、教育と貧困の関係性についてまとめる。
8 マルサスの罠とリカードの罠	事前学習： マルサスの罠、リカードの罠とはどのような概念か調べておく。 事後学習： アジアの工業化、緑の革命がマルサスの罠、リカードの罠を克服するために果たした役割をまとめてみる。
9 戦後日本の経済成長と現在のアジア	事前学習： 日本の高度経済成長とはどのような時代であったか確認しておく。 事後学習： 日本の高度経済成長と東アジアの奇跡にはじまる急速なアジアの発展の類似性と相違点を確認してみる。
10 アジアの都市成長、都市化によるインフォーマルセクターの可能性と問題	事前学習： アジアのインフォーマル部門と都市の貧困について調べておく。 事後学習： アジアのインフォーマル部門が生じる原因とスラムや貧困の現状をまとめてみる。
11 アジアの経済社会と日本の開発援助-ベトナムの事例から-	事前学習： JICAや外務省のHPから現在の日本によるODAの量と供与先を調べておく。 事後学習： 日本のODAがアジア特にベトナムに果たした役割についてまとめる。
12 アジアの経済社会と日本企業-ベトナムの事例から-	事前学習： 昨今の日本とベトナムの関係を示す記事などを新聞で確認しておく。 事後学習： 在越日本企業による直接投資がアジアの経済成長に与えた影響をまとめる。
13 まとめ：アジアの今後	事前学習： 今日アジアが直面している諸問題を一つとりあげ、その現状を調べておく。 事後学習： 今後アジアがどのように発展するか、自身の意見を理由とともに述べてみる。

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
千葉商科大学	現代社会解析 (3Q)	手賀 洋一	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】						
<p>現代社会はどのような課題を抱え、どこへ向かおうとしているのか。本講義では今、世界で起きている出来事を歴史的な文脈の中で考える。グローバル化した社会では、一国で起きた出来事が容易に国境を越え他国に大きな影響を与える。現代の出来事は過去の結果でもある。現代の現象を理解するには、歴史的な縦軸の視点とグローバルな横軸の視点が欠かせない。</p> <p>本講座で扱うテーマを地域別にみると、大きく三つに分かれる。第一は、トランプ前政権下で分断が進んだアメリカ社会の現状である。今秋の米大統領選に関するニュースと絡めて解説する。奴隷貿易からBlack lives matterに至る人種差別の歴史や、二大政党の政策変遷についても学ぶ。</p> <p>第二は、中東地域の政治・社会情勢である。米国の2021年8月にアフガンから撤退し、タリバンが再び政権を掌握した。パレスチナは2023年秋から戦争状態にある。紛争の絶えない中東の情勢はさらに混迷を深める。ソ連のアフガン侵攻以来、繰り返されてきた紛争とテロの連鎖を振り返る。</p> <p>第三は欧州の現状である。中東の不安定化は、難民の大量流入など欧州に大きな影響を与えた。2022年には、ロシアがウクライナに侵襲し、民主主義国家と専制国家の対立が鮮明になった。極右勢力が台頭し、平和で先進的なイメージに陰りもみえる欧州の今をみつめる。</p> <p>なお期間中、社会に大きな影響を及ぼすニュースがあれば、授業予定を一部変更し講義で取り上げる。</p>						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】						
<p>学修成果(達成目標)：現代社会のさまざまなニュースについて、相互の関連を意識して説明できる。ニュースを歴史の流れの中に位置づけて理解できる。</p> <p>成績評価の方法：授業内テスト(記述式・発表)80% 授業参加20%</p>						
【教科書・参考書】						
<p>教科書： 指定しない。</p> <p>参考書： 今がわかる時代がわかる世界地図 2024年版 成美堂出版 2023/11/30、メディアとジャーナリズム 手賀洋一 三恵社 2023/2/20、世界地図から歴史を読む方法 武光誠 河出書房新社 2019/11/10、アメリカの大問題 高岡望 PHP新書 2016/6/29、民主主義とは何か 宇野重規 講談社現代新書 2020/10/10</p>						
【その他】 履修上の注意：受講期間中は新聞を読んだり、NHKのニュース番組を見るなど日々ニュースに接することが望ましい。関心の幅が広がり、現代社会の知識が増える。ニュース価値を見極める目も養われる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テスト結果を踏まえ、授業中に適宜フィードバックを行う。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス グローバル化と民主主義			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
2	黒人死亡抗議デモ(1) BLMとは			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
3	黒人死亡抗議デモ(2) 公民権運動とコロンブス像撤去			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
4	トランプ政権の4年とMAGA運動 President of the Divided States			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
5	米国の二大政党			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
6	米大統領選(1) 政党の変質と地盤の変遷			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
7	米大統領選(2) 中間層の衰退と宗教右派			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
8	振り返りと授業内試験			事前学習： 米国の社会・政治状況の振り返り		
				事後学習： 記述試験の振り返り		
9	中東の混迷、欧州の憂鬱(1) 民族、人種、ナショナリズム			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
10	中東の混迷、欧州の憂鬱(2) アルカーイダ、「イスラム国」、パレスチナ紛争			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
11	中東の混迷、欧州の憂鬱(3) テロ事件と反移民、極右の台頭			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
12	ロシアとベラルーシ 暴走する独裁国家			事前学習： 関連ニュースをチェックする		
				事後学習： わからない語句を調べてノートに書く。講義の要点をまとめる		
13	振り返りとスライド発表			事前学習： 後半の授業の振り返り		
				事後学習： フィードバックを発表スライドに反映する		

※1時限105分とし、1学期1科目あたりの授業回数は13回となります。

2024年度 後期・秋学期
大学コンソーシアム市川・単位互換科目一覧

和洋女子大学

学部	学科	科目名	区分	単位	担当教員	授業形態	開講期	曜日	時限	備考
人文学部	日本文学文化	身体表現論Ⅰ	講義	2	宮川 麻理子	面接	後期	月	5	
		ポピュラーカルチャーⅡ	講義	2	仁藤 潤	面接	後期	月	4	
		現代アート論Ⅱ	講義	2	仁藤 潤	面接	後期	木	4	
		アニメーション学	講義	2	仁藤 潤	面接	後期	木	3	
		文学セミナー 現代の文化と文学	講義	2	小堀 洋平	面接	後期	木	5	
		デジタル・ゲーム学	講義	2	山本 貴光	面接	後期	金	5	
	心理	青年心理学	講義	2	池田 幸恭	遠隔オンデ	後期	月	-	
		心理学統計法	講義	2	高梨 一彦	面接	後期	水	5	
	国際学部	英語圏文化概論	講義	2	長妻 由里子	面接	後期	水	4	
		マーケティング論	講義	2	藤丸 麻紀	面接	後期	月	1	
国際社会文化の基礎(現代社会)		講義	2	里正 明伍	面接	後期	月	2		
国際社会文化の基礎(現代政治)		講義	2	金丸 裕志	面接	後期	金	4		
観光文化と地理		講義	2	板垣 武尊	面接	後期	木	5		
ヨーロッパ文化社会論		講義	2	秦泉寺 友紀	面接	後期	金	2		
家政学部	服飾造形	立体構成学実習Ⅰ	実習	1	山本 高美	面接	後期	月	3・4 (13:00~15:25)	実習費¥3,000-
		立体構成学実習Ⅰ	実習	1	山本 高美	面接	後期	木	1・2 (9:45~12:10)	実習費¥3,000-
	家政福祉	住居学	講義	2	金指 有里佳	面接	後期	火	2	
		高齢者福祉論	講義	2	岡本 秀明	面接	後期	水	1	
		衣生活論	講義	2	柴田 優子	面接	後期	火	2	

※受入人数は若干名

<時間割>

1時限 9:00~10:30
2時限 10:40~12:10
3時限 13:00~14:30
4時限 14:40~16:10
5時限 16:20~17:50
6時限 18:00~19:30

<授業開始日>
2024年9月20日（金）

<授業方法について>

○面接授業:登校して受講します。

○遠隔オンデマンド授業:受講にあたっては、インターネットに接続できるパソコンをご準備ください。各自がインターネットにアクセスし、専用の学修支援システム「manaba course」でオンデマンド（自分の好きな時間に映像・音声を再生できる方式）で受講します。

動画、音声、外部サイト、教育用アプリなど様々なツールを使用します。

※決められた曜日の翌日24時までに関覧で出席（当日正午から公開）、翌週公開までに関覧で遅刻となります。

それ以降の閲覧は欠席となります。課題の提出締め切りは、別に指定されることがあります。

教員からの指示に注意してください。

<開講キャンパス>

和洋女子大学 〒272-8533 千葉県市川市国府台2丁目3-1

◇アクセス◇

- ・JR市川駅下車 バス8分 北口1番京成バス 松戸営業所行または松戸駅行に乗車、真間山下(ままさんした)下車
- ・京成線国府台(和洋女子大学前)駅下車 徒歩9分
- ・JR松戸駅 下車 バス20分 松戸駅(西口1番京成バス)→市川駅行(和洋女子大前下車)
- ・北総線矢切駅 下車 バス7分 矢切駅(京成バス)→市川駅行(和洋女子大前下車)

<問い合わせ先>

教務課 TEL 047-371-1124

【非正規生用】

2024年度 授業日程表

和洋女子大学・大学院・教務課

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	月	1	水	1	土	1	月	1	木	1	日
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	2	月
3	水	3	金	3	月	3	水	3	土	3	火
4	木	4	土	4	火	4	木	4	日	4	水
5	金	5	日	5	水	5	金	5	月	5	木
6	土	6	月	6	木	6	土	6	火	6	金
7	日	7	火	7	金	7	日	7	水	7	土
8	月	8	水	8	土	8	月	8	木	8	日
9	火	9	木	9	日	9	火	9	金	9	月
10	水	10	金	10	月	10	水	10	土	10	火
11	木	11	土	11	火	11	木	11	日	11	水
12	金	12	日	12	水	12	金	12	月	12	木
13	土	13	月	13	木	13	土	13	火	13	日
14	日	14	火	14	金	14	日	14	水	14	土
15	月	15	水	15	土	15	月	15	木	15	日
16	火	16	木	16	日	16	火	16	金	16	月
17	水	17	金	17	月	17	水	17	土	17	火
18	木	18	土	18	火	18	木	18	日	18	水
19	金	19	日	19	水	19	金	19	月	19	木
20	土	20	月	20	木	20	土	20	火	20	日
21	日	21	火	21	金	21	日	21	水	21	土
22	月	22	水	22	土	22	月	22	木	22	日
23	火	23	木	23	日	23	火	23	金	23	月
24	水	24	金	24	月	24	水	24	土	24	火
25	木	25	土	25	火	25	木	25	日	25	水
26	金	26	日	26	水	26	金	26	月	26	木
27	土	27	月	27	木	27	土	27	火	27	日
28	日	28	火	28	金	28	日	28	水	28	土
29	月	29	水	29	土	29	月	29	木	29	日
30	火	30	木	30	日	30	火	30	金	30	月
		31	金			31	水	31	土		

2024年度 時程

1限 9:00～10:30

1・2限 9:45～12:10

2限 10:40～12:10

3限 13:00～14:30

3・4限 13:00～15:25

4限 14:40～16:10

4・5限 15:25～17:50

5限 16:20～17:50

6限 18:00～19:30

※前期・後期 それぞれ15回分の授業があります。祝日の授業日もありますのでご注意ください。

※休講・補講・授業連絡については、授業内で教員から連絡がある他、「学生ポータルサイト」「manaba course」にてインターネット配信されます。

※授業が休講となった場合、平日6限、土曜3限・4限などに補講を実施することがあります。補講を実施する場合は、事前に教員より履修学生に補講実施日の確認があります。

※緊急時の休講について 千葉県北西部(東葛飾・千葉中央・印旛の全地域)に暴風・大雨・洪水・大雪警報が発令された場合や交通機関のストライキ等で、緊急休講になる場合があります。

不明な際はお問合せ下さい【連絡先】047-371-1124(教務課電話番号) kyomu@wayo.ac.jp(教務課メールアドレス)

【非正規生用】

2024年度 授業日程表

和洋女子大学・大学院・教務課

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火	火-2	1	金	里見祭準備(平常授業・補講なし)	1	日	1	水	1	土
2	水	水-2	2	土	里見祭第1日目(平常授業・補講なし)	2	月	2	木	2	日
3	木	木-2	3	日	里見祭第2日目(平常授業・補講なし) 文化の日	3	火	3	金	3	月
4	金	金-2	4	月	里見祭後片付け(平常授業・補講なし) 振替休日	4	水	4	土	4	火
5	土	土-3	5	火	里見祭代休(平常授業・補講なし)	5	木	5	日	5	水
6	日		6	水	補講日(平常授業なし・補講実施可)	6	金	6	月	6	木
7	月	月-3	7	木		7	土	7	火	7	金
8	火	火-3	8	金		8	日	8	水	8	土
9	水	水-3	9	土		9	月	9	木	9	日
10	木	木-3	10	日		10	火	10	金	10	月
11	金	金-3	11	月		11	水	11	土	11	火
12	土	土-4	12	火		12	木	12	日	12	水
13	日		13	水		13	金	13	月	13	木
14	月	スポーツの日	14	木		14	土	14	火	14	金
15	火	火-4	15	金		15	日	15	水	15	土
16	水	水-4	16	土		16	月	16	木	16	日
17	木	木-4	17	日	学校推薦型選抜入試	17	火	17	金	17	月
18	金	金-4	18	月		18	水	18	土	18	火
19	土	土-5	19	火		19	木	19	日	19	水
20	日	総合型選抜・併設校入試	20	水		20	金	20	月	20	木
21	月	月-4	21	木		21	土	21	火	21	金
22	火	火-5	22	金		22	日	22	水	22	土
23	水	水-5	23	土	土曜授業日(勤労感謝の日) オープンキャンパス	23	月	23	木	23	日
24	木	木-5	24	日		24	火	24	金	24	月
25	金	金-5	25	月		25	水	25	土	25	火
26	土	土-6	26	火		26	木	26	日	26	水
27	日	総合型選抜・併設校入試	27	水		27	金	27	月	27	木
28	月	月-5	28	木		28	土	28	火	28	金
29	火	火-6	29	金		29	日	29	水	29	土
30	水	水-6	30	土		30	月	30	木	30	日
31	木	里見祭準備(平常授業・補講なし)	31	火		31	日	31	水	31	土

2024年度 時程
 1限 9:00~10:30
 1・2限 9:45~12:10
 2限 10:40~12:10
 3限 13:00~14:30
 3・4限 13:00~15:25
 4限 14:40~16:10
 4・5限 15:25~17:50
 5限 16:20~17:50
 6限 18:00~19:30

備考 ※前期・後期 それぞれ15回分の授業があります。祝日の授業日もありますのでご注意ください。

※休講・補講・授業連絡については、授業内で教員から連絡がある他、「学生ポータルサイト」「manaba course」にてインターネット配信されます。

※授業が休講となった場合、平日6限、土曜3限・4限や補講日などに補講を実施することがあります。補講を実施する場合は、事前に教員より履修学生に補講実施日の確認があります。

※緊急時の休講について 千葉県北西部(東葛飾・千葉中央・印旛の全地域)に暴風・大雨・洪水・大雪警報が発令された場合や交通機関のストライキ等で、緊急休講になる場合があります。

不明な際はお問合せ下さい 【連絡先】 047-371-1124 (教務課電話番号) kyomu@wayo.ac.jp (教務課メールアドレス)

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	身体表現論 I	宮川 麻理子	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 「身体」の表象を多角的に理解する。踊る身体に見られる思想やその背景を読み解き、言語化できるようになる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 身体が生み出す表象について、それを分析し読み解く力を体得する。また、ダンスの分析を通して、身体に対する多様な捉え方を学び、それらを批判的に記述することができる。 【評価方法】 講義への参加(コメント・リアクションペーパーの提出)40%、期末レポート60%の割合で評点を算出する。 欠席が5回を超える場合は、単位を与えない。						
【教科書・参考書】 教科書： 特になし。 参考書： 講義の都度指示する。						
【その他】 すべての授業連絡はmanaba courseで行う。 フィードバック:質問や講義コメントに対する教員の応答は、都度manabaに掲載、または授業内で回答する。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス 講義概要、主要参考文献、評価方法の説明			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
2	バレエの身体① バレエの誕生からクラシック・バレエまで			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
3	バレエの身体② バレエ・リュスとニジンスキーについて			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
4	モダンダンスの身体① 20世紀初頭のダンサーたち			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
5	モダンダンスの身体② ドイツ表現主義舞踊			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
6	モダンダンスの身体③ アメリカのモダンダンス			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
7	ポストモダンダンスの身体 「タスク」を中心に			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
8	ダンスと演劇の融合? ピナ・バウシュとタンツ・テアター			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
9	西洋のダンスと日本人 日本における洋舞の発展について			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
10	舞踏の身体① 土方巽の舞踏について			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
11	舞踏の身体② 大野一雄の舞踏について			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
12	コンテンポラリーダンスの身体① ヌーヴェルダンス以降の展開			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
13	コンテンポラリーダンスの身体② ノンダンスについて			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
14	コンテンポラリーダンスの身体③ サーカスの身体とコンテンポラリーダンス			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		
15	まとめ 講義内容の総括と質問への回答(フィードバック)			事前学習: 紹介した参考書等に目を通す。(1.0h) 事後学習: 紹介した動画や参考文献を見直し、理解を深める。(1.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	ポピュラーカルチャーⅡ	仁藤 潤	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 時代背景を踏まえて、若者が作り出した文化について幅広く研究を行う。主に、アニメ、マンガ、映画等を取り扱う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 サブカルチャーとは何なのか、自分の言葉で説明できる。 サブカルチャーについて、テーマを決め、研究発表(レポート)ができる。 【評価方法】 ①平常点(最大10点): 授業マナーを守り、授業に積極的に取り組む態度を評価する。 ②アンケート(最大60点): 授業内容をしっかりと理解しているかを評価する。 ③最終課題(最大30点): 授業内で出された課題の完成度を評価する。 10分以上遅刻は、減点対象とします。30分以上(2/3)の遅刻は、欠席とします。6回以上(2/3)の欠席は、出席不足とします。 締め切りを過ぎて提出された課題については、大きな減点を行う。						
【教科書・参考書】 教科書: 特になし 参考書: 必要に応じて、提示する						
【その他】 学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	ガイダンス 授業概要と到達目標を確認する。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
2	ディズニーアニメの研究 マルチプレーンと技術革新 他	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
3	ディズニーアニメの研究 ウォルトの死後、ベテランアニメーターの引退	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
4	ディズニーアニメの研究 トーキー、ステレオシステム、3DCGの導入	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
5	ストーリー漫画、ギャグ漫画 新聞に定着した4コマ漫画形式	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
6	ジャンルの多様化 赤本漫画、戦記漫画、スポ根、ラブコメ、	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
7	ジャンルの多様化 ラブコメ、ロリコン、ガールヒーロー	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
8	少女マンガ 少女マンガ革新の波	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
9	テーマと表現 魔球、キャラクター、ボーイズラブ 他	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
10	読者と社会現象 オタク・腐女子、萌え、コミケ、聖地巡礼	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
11	最終課題 リサーチを行い、テーマを決め、発表の準備を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
12	最終課題 研究発表を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
13	最終課題 研究発表を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
14	最終課題 研究発表を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				
15	最終課題 発表と講評(フィードバック)を行う。	事前学習: シラバスを確認し、予習を行う。(2.0h) 事後学習: 授業で指示された、課題に取り組む。(2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	現代アート論Ⅱ	仁藤 潤	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 映像制作の基礎から応用技術を概説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 撮影の基礎知識が理解できる。 照明の基礎知識が理解できる。 動画編集の基礎知識が理解できる 撮影、動画編集を一人で行う事ができる。 【評価方法】①平常点(最大10点)：授業マナーを守り、授業に積極的に取り組む態度を評価する。 ②アンケート(最大60点)：授業内容をしっかりと理解しているかを評価する。 ③最終課題(最大30点)：授業内で出された課題の完成度を評価する。 10分以上遅刻は、減点対象とします。6回以上(2/3)の欠席は、出席不足とします。 締め切りを過ぎて提出された課題については、大きな減点を行う。						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 世界で一番わかりやすい映像制作の教科書/技術評論社/小島真也						
【その他】 学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス 授業概要の説明と到達目標の確認。	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
2	ストップモーションアニメーションの基礎 ストップモーションアニメーションの基礎技術	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
3	企画立案、構成案と絵コンテ 企画立案、撮影台本と絵コンテの作り方	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
4	映像の技術的基礎 動画撮影の基礎知識	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
5	撮影・カメラワークの基本 ポジション、アングル、撮影サイズ、三脚の使い方	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
6	動画編集の為の撮影 イメージライナー、場面転換	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
7	録音/音声収録 録音の基礎知識	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
8	ライティングの基礎 3灯ライティングの基礎知識	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
9	動画編集の基礎 カット編集の基礎知識	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
10	編集、音声の編集 音声編集の応用技術	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
11	ポストプロダクション テロップとタイトル、カラーグレーディング、書き出し	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
12	課題1 課題1に取り組む	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
13	課題1 課題1の講評	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
14	課題2 課題2に取り組む	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				
15	最終課題 課題2の講評、総括(フィードバック)を行う。	事前学習： 事前学習：シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	アニメーション学	仁藤 潤	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 国内外のアニメーションについて概説を行う。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 各回の授業の内容を理解し、自分の考えをまとめる事ができる。 テーマを決め、レポートにまとめる事ができる。 【評価方法】 ①平常点(最大10点)：授業マナーを守り、授業に積極的に取り組む態度を評価する。 ②アンケート(最大60点)：授業内容をしっかりと理解しているかを評価する。 ③最終課題(最大30点)：授業内で出された課題の完成度を評価する。 10分以上遅刻は、減点対象とします。30分以上(2/3)の遅刻は、欠席とします。6回以上(2/3)の欠席は、出席不足とします。 締め切りを過ぎて提出された課題については、大きな減点を行う。						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： その都度、提示する。						
【その他】 学生の理解度や興味関心に合わせ、シラバスを変更する可能性あり。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	ガイダンス 授業の概要と到達目標を確認する			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
2	テレビ文化 テレビ文化と鉄腕アトム			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
3	パペットアニメーション 国内外のパペットアニメーション			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
4	様々な素材を使ったアニメーション ユーリーノルシュテイン、アードマンスタジオ 他			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
5	人型ロボット 人造人間ガムゼー、鉄腕アトム 他			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
6	スーパーロボット 二次元世界のヒーロー			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
7	魔法少女について 魔女、魔法使い、魔術師			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
8	スポーツ文化 スポーツとアニメ			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
9	学園文化について モラトリウムと日常生活			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
10	聖地巡礼 聖地巡礼とアニメーション			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
11	最終発表の準備 テーマを決め、最終発表の準備を行う。			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
12	最終課題 発表を行う。			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
13	最終課題 発表を行う。			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
14	最終課題 発表を行う。			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		
15	最終課題 発表と講評(フィードバック)を行う。			事前学習： シラバスを確認し、予習を行う。(2時間) 事後学習： 授業内容を復習し、課題に取り組む。(2時間)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	文学セミナー 現代の文化と文学	小堀 洋平	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 現代、すなわち私たちと同時代の小説を読解し、それらの作品の内容および形式上の特徴を検討する。 特に、現代の小説が読者に投げかけるさまざまな問題について考える。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 (1) 現代の小説の基本的な分析方法を修得する。 (2) 現代の小説の内容および形式上の特徴について理解する。 (3) 現代の小説と同時代の現実との関係について理解する。 【評価方法】 最終レポート(80点)と各回授業時の発言、リアクションペーパー等(20点)により評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： 『25の短編小説』(朝日文庫)2020年9月、朝日新聞出版 参考書： 必要に応じて指示する。						
【その他】 履修者の興味・関心・理解度などに応じて内容を一部変更することがある。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	授業への導入 授業の内容と形式を説明し、その目的を確認する。			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
2	阿部和重 『А н о у н』の分析。			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
3	磯崎憲一郎 『新元号二年、四月』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
4	小川哲 『あんなカレーに……』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
5	角田光代 『ポケットのなか』の分析(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
6	片岡義男 『今日この頃です』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
7	金原ひとみ 『#コロナウ』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
8	川上弘美 『泣くのにはいい時間』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
9	島本理生 『通話時間4時間49分3秒』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
10	高山羽根子 『旅の熱』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
11	津村記久子 『水曜日の山』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
12	藤野可織 『なにも持っていない右腕』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
13	星野智幸 『ディア・ブルーデンス』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
14	町屋良平 『四半世紀ノスタルジー』の分析。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		
15	まとめ 現代の短編小説の特徴を再確認する。(含前回フィードバック)			事前学習： 事前に対象作品を通読する(2h) 事後学習： 事後にノートを整理し、最終レポートを準備する(2h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	デジタル・ゲーム学	山本 貴光	後期・秋学期	選択必修	講義	2
【授業のねらい】 この講義では、20世紀後半に登場したデジタル・ゲーム、コンピュータを用いたゲームを扱います。 デジタル・ゲームの仕組みとともに、そうしたゲームで遊ぶとき、人がなにを経験しているのかに注目します。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 デジタル・ゲームとはなにか、プレイする人はなにを体験するのか、文化や社会にどのような影響があるのか、といった点について理解し、自分でも検討できるようになること。 【評価方法】 中間ミレポート (20点) 最終レポート (70点) 講義中の発言など (10点)						
【教科書・参考書】 教科書： 必要な資料は講義中に配付します 参考書： ・三宅陽一郎+山本貴光『高校生のためのゲームで考える人工知能』（ちくまプリマー新書、筑摩書房） ・ケイティ・サレン&エリック・ジマーマン『ルールズ・オブ・プレイ』（山本訳、ニューゲームズオーダー、2019） ・吉田寛『デジタルゲーム研究』（東京大学出版会）						
【その他】 ゲームに詳しい必要はありません。あまり遊んだことがない方も歓迎します。好奇心だけはお忘れなく。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	イントロダクション 本講義の概要を説明する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
2	ゲームの歴史 (インターネット以前) ゲームの歴史についてインターネット以前を概観する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
3	ゲームの歴史 (インターネット以後) ゲームの歴史についてインターネット以後を概観する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
4	デジタルゲームの構造 (構成要素) デジタルゲームの構造を、特に構成要素の点で検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
5	デジタルゲームの構造 (ゲームフロー) デジタルゲームの構造を、特にゲームフローの点で検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
6	デジタルゲームのプレイ体験 人がデジタルゲームで遊ぶとき、なにが起きているのか、なにを体験しているのかを検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
7	デジタルゲームの文化・社会への影響 デジタルゲームの影響について検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
8	ゲームを分析する1 (パズルゲーム篇) 具体的なゲームを例にして分析してみる	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
9	ゲームを分析する2 (アクションゲーム篇) 具体的なゲームを例にして分析してみる	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
10	ゲームを分析する3 (ロールプレイングゲーム篇) 具体的なゲームを例にして分析してみる	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
11	ゲームを分析する4 (オンラインゲーム篇) 具体的なゲームを例にして分析してみる	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
12	ゲームの視覚表現 デジタルゲームで用いられるコンピュータグラフィクスについて検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
13	ゲームの聴覚表現 デジタルゲームで用いられるサウンドについて検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
14	ゲームのなかの人工知能 デジタルゲームで用いられる人工知能について検討する	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				
15	まとめ ここまで検討したことを振り返り、フィードバックを行う	事前学習： 前回までの講義で理解したことを踏まえて、次回の講義のテーマについて、いま自分が知っていることを整理してみましょう (1時間) (1.0h) 事後学習： 毎回の講義で得た知識やもの見方を使って、ご自身が知っているゲームを検討してみましょう (2時間) (2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	青年心理学	池田 幸恭	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 青年期とは、自分自身のこれまでの人生をふり返し、これからの生き方を模索する時期といえる。 青年理解、さらに青年の自己理解につながる青年心理学の知見について解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 (1) 青年期の心理的特徴を理解し、説明できる。 (2) 学んだ知見を他者理解や他者との関係に活かすことができる。 (3) 自己理解を深め、自分自身の生き方を模索する手がかりを得ることを目指す。 【評価方法】 毎回の授業で、学んだことや討論したことについて成果提出を求める(60%)。学期末にレポートを課す(40%)。						
【教科書・参考書】 教科書： 特定の教科書は指定しない。適宜プリントを配布する。 参考書： 授業中にその都度指示する。						
【その他】 授業内容への質問は次回に返答し、意見交換後の小レポート成果を共有することでフィードバックを行う。 manaba courseの「個別指導コレクション」でも 質問を受け付ける。授業担当者などによる調査への協力を任意でお願いすることがある。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
ガイダンス				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
1	本講義の目標とスケジュールの確認 青年心理学の概要			事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
2 自我の目覚め				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
自己意識 自我と自己 自己受容(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
3 青年期の身体的変化				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
発育スパート 発達加速現象 性の発達(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
4 青年期の社会的変化				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
NEET 社会的排除と社会的包摂(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
5 おとなになること				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
「おとな」の基準 シティズンシップ(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
6 青年と文化				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
ユース・カルチャー 青年問題の変遷(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
7 青年の問題理解				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
メッセージとしての問題 ビアヘルパーの活動(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
8 中間まとめ				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
1回から7回までのまとめ(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
9 アイデンティティ形成(1)				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
青年期の危機 アイデンティティの感覚(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
10 アイデンティティ形成(2)				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
アイデンティティ拡散 心理社会的モラトリアム(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
11 親からの自立				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
自立と依存 反抗 親子関係の変化(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
12 友人との距離				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
現代青年の友人関係 友人関係の発達(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
13 働くことと愛すること(1)				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
キャリア形成 職業観(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
14 働くことと愛すること(2)				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
青年期の恋愛の特徴 ライフコースの多様化(前回フィードバック)				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		
15 まとめ(フィードバック含む)				事前学習： 自分自身の青年期の体験を整理する(2h)。		
総括 学びの達成度の確認				事後学習： 参考図書などで学びを深め、討論後の小レポートに取り組む(2h)。		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	心理学統計法	高梨 一彦	後期・秋学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 心理学において行われる実験や調査等で得られたデータを分析する際に求められる基本的な心理統計法の考え方やデータの処理方法を学び、心理学的なアプローチによってどのように対象の理解を作り上げていくかについての基礎を学ぶ。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 事実認識についての科学哲学の観点から始まり、基礎的な統計学を含む実際の諸種の心理統計的手法についてその基本原理を理解する。 【評価方法】 小テスト (30%) と試験 (70%) による。						
【教科書・参考書】 教科書： 特に指定しない。必要な場合には適宜資料を配付する。 参考書： David Howell, 2012, Statistical Methods for Psychology(8th revised ed). Wadsworth Publishing Company.						
【その他】 電卓等計算機（関数電卓でもよい）を用意し、使えるようにしておくこと。またグラフ用紙等も用意しておくこと。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	科学哲学から見た「事実」とは 主観と客観の意味づけと科学的な事実について講義する	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
2	心理測定的一般理論 恒常法、調整法、極限法などの一般的な心理測定法について	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
3	数値の理解の仕方－図表による視覚的なデータの理解－ 諸種のグラフとその使い方について	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
4	教育・心理統計法の基礎について 数学的な記号の使い方ならびにその意味を復習する	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
5	4つの尺度（名義、順序、間隔、比率）について Stevensの提唱する4つの尺度について	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
6	代表値、散布度、統計量－数による基本的な表現方法－ 基本的な統計量を求め、その意味づけと利用の仕方を学ぶ	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
7	正規分布とその性質を使って 標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
8	連関と相関をめぐって 諸種の相関係数とその考え方や因果律について	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
9	正規分布と t 分布について 区間推定の考え方－神様しか知らない数字に近づく方法－	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
10	統計的検定の考え方－犯人探しのロジック－ 背理法による仮説検定のロジックと検定力について	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
11	平均の差の検定 1 t 分布を用いた検定法の理論を学ぶ	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
12	分散の差の検定と実験計画 実際にデータを用いて t 検定を行って理解する	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
13	データ分析のまとめ1 4つの尺度とその利用方法についてまとめる	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
14	データ分析のまとめ2 検定について復習する	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				
15	まとめ（フィードバック含む）と試験 全体のまとめを行い、試験を実施する	事前学習： 配布物にあらかじめ目を通して予習する (2h) 事後学習： 授業後の内容を小テスト等で復習すること (2h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	英語圏文化概論	長妻 由里子	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある英語圏の国々の文化に関する基礎知識を身につけるため、音楽、絵画、写真、映画、テレビ番組などをつうじ、文化的な事象を時代や国境を横断しながら概観し、関連する社会的な諸問題について学ぶ。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 外国の文化について今後それぞれの関心を主体的に発展させ、異文化コミュニケーションに適応するための能力をつけることを目標とする。 【評価方法】 授業への取り組み、貢献、小レポート等課題60%、学期末課題40%の合計で60%以上。試験を受けない場合は不可となる。						
【教科書・参考書】 教科書： 授業中に配布、もしくは本学修学支援システムにアップロードする。 参考書： 授業中に配布、もしくは本学修学支援システムにアップロードする。						
【その他】 2/3以上出席しないものは評価の対象とならない(公欠等をのぞく)。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。20分以内の遅刻3回は欠席1回とカウントする。						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
イントロダクション				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h)		
1 授業の説明および外国の文化を学ぶことの意味について話す。英語圏の日用品や写真などについて講義後、全体でディスカッションを行う。				事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
2 1600年代の社会と文化 ヨーロッパ諸国による植民と入植期の文化を学ぶ。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
3 1700年代の社会と文化 アメリカ独立戦争と建国期の文化を学ぶ。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
4 1800年代 国の発展と自然の開発・搾取を概説する。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
5 19世紀文化と社会におけるジェンダーI(19世紀絵画と彫刻) 英語圏の絵画や彫刻で、ジェンダーがどのように表象されているかについて学ぶ。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
6 20世紀文化と社会におけるジェンダーII(写真と雑誌) 英語圏の写真や雑誌で、ジェンダーがどのように表象されているか、またジェンダーをめぐるコミュニケーションの日本との違いについて講義する。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
7 中間試験 および食文化と嗜好品、インタビューのための準備 食文化を英語圏諸国に関して概観し、その多様性と歴史的背景に触れる。食が影響するコミュニケーションの文化について学ぶ。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
8 インタビューの実施 インタビューを行う。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
9 20世紀における音楽文化の発展と人種差別 英語圏文化から生まれたポピュラー音楽の発展と、その背後にある人種差別について考察する。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
10 20世紀の社会の発展と労働者のイメージ 労働者を扱った作品を概観し、階級の視点から英語圏諸国の社会の多様性に触れる。また、米国大統領の直面した社会問題と政策を考える。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
11 インタビュー結果の報告 インタビューの結果を報告し、レビューを行う。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
12 20世紀マスメディアと社会 英語圏のテレビ番組やテレビCM、新聞等のマス・コミュニケーションについて、日本との違いを概観すると同時に、メディアと大統領の関係について知見を深める。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
13 クィア表象とセクシュアリティの問題 クィアをテーマにした文化的作品を概観し、20世紀に英語圏諸国が経験してきた葛藤と性的多様性を認める社会について考察する。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
14 写真映像と現代英語圏文化社会 英語圏の写真家によって表現された、現代社会の問題について考察する。また、写真表現における異文化コミュニケーションの現状を学ぶ。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと。(1.0h) 事後学習： ノートを整理し、授業で学んだ新しい内容を確認する。課題が出された場合は、次の授業までに終わらせる。(1.0h)		
15 今学期の総括(フィードバックを含む)と期末課題 総括および、各自期末の課題を行う。				事前学習： 配布資料等は必ず読むこと(授業準備1時間) 事後学習： 配布資料等は必ず読むこと(復習1時間)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	マーケティング論	藤丸 麻紀	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 経営だけでなく観光でも重要なマーケティングの知識を身につけることを目指し、理論と実例を結び付けられるように分かりやすく解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 マーケティングの知識を使って自分で分析できる力を身につける 【評価方法】 授業ごとの小課題および期末レポート						
【教科書・参考書】 教科書: manabaで資料を配布するため、PCかタブレットを持参すること。 参考書: なし						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
マーケティングとはなにか				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
1	マーケティングとはなにか。なぜ必要か。この授業の進め方。			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
マーケティング戦略				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
2	経営戦略とマーケティング			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
マーケティングのための情報収集				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
3	データ収集、アンケートなど			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
顧客価値、顧客満足				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
4	カスタマー・リレーションシップ			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
消費者市場				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
5	消費者行動の理論について学ぶ			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
市場の細分化				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
6	市場の細分化とターゲティング			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
3C分析				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
7	3C分析の基礎知識と実践例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
4P分析				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
8	4P分析の基礎知識と実践例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
SWOT分析				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
9	SWOT分析の基礎知識と実践例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
広告・宣伝				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
10	デジタルも含めた広告・宣伝方法			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
観光地におけるマーケティング				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
11	観光地におけるマーケティングの考え方と実例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
旅行会社におけるマーケティング				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
12	旅行会社におけるマーケティングの考え方と実例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
鉄道会社におけるマーケティング				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
13	鉄道会社におけるマーケティングの考え方と実例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
航空会社におけるマーケティング				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
14	航空会社におけるマーケティングの考え方と実例			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		
レポート作成・フィードバック				事前学習: 授業時間外に取り組み課題を出すことがある (2.0h)		
15	マーケティングを応用したレポートを作成する。フィードバック。			事後学習: 授業内容を踏まえて実例を考える (2.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	国際社会文化の基礎 (現代社会)	里正 明伍	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 講義では、現代社会におけるモダンティとしての近代的文化や近代的社会仕組みの特徴について分析を行い、同時にそれを通して現代社会の「常識」に対する省察を試みる。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 自分自身及び社会文化に対する認識を深め、国際社会文化の問題に対する分析能力、人を幸せにする社会文化に関する提案能力等を高めていくことを到達目標とする。 【評価方法】 期末試験(60%)、平常点(感想文等で評価、40%)						
【教科書・参考書】 教科書： 必要に応じてプリントを配付 参考書： 授業時に提示する						
【その他】 manabaの「スレッド」で必要に応じて理解度の確認を行い、同「個別指導」を通して質問等を受け付ける。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
イントロダクション			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
1	現代社会の根本問題解決に社会学がどのように関わりうるか。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
人はなぜムレをつくるのか—人間と社会			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
2	人間関係の基本パターンと社会の基本類型について解説する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「文化的再生産」—社会と文化(1)			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
3	文化を体系的に分析し、その社会地位への影響を考察する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「恥の文化」—社会と文化(2)			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
4	「異文化」のとらえ方について考える。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「私」の社会史—現代社会とアイデンティティ(1)			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
5	「社会的理想」と「個人的夢」にみる「近代的自我」の変容		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「自分探し」—現代社会とアイデンティティ(2)			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
6	消費化、情報化と「自分探し」の関係について分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「学歴」か能力か—価値・規範と行為			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
7	行為基準の「近代化」と「脱近代化」について分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「わかりあえる」とは—コミュニケーションの構造			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
8	コミュニケーションの今日的問題を分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「事実」のつくり方—メディアの展開			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
9	メディアの影響力について分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
有名性の変容—社会的資源論			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
10	社会的資源のとらえ方の変容を考察する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
「衝動買い」の意味するもの—社会的交換論			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
11	現代社会の資源配分について分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
組織とネットワーク—人の「集まり」の変容			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
12	近代的組織の限界とネットワークの可能性について分析する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
家庭と国家に通底するもの—社会システム論			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
13	社会システムの考え方を紹介し、その有効性について考える。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
グローバル化と社会変動			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
14	グローバル化の方向性を分析し、社会構造の変容を展望する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			
まとめ(フィードバックを含む)			事前学習： 授業資料を熟読し関連情報(ニュース等)を調べる。(2.0h)			
15	この講義全体の意義をまとめ理解面の課題について説明する。		事後学習： ノートを見返し参考資料と照らして理解を深める。(2.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	国際社会文化の基礎 (現代政治)	金丸 裕志	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 この講義では、今日の日本が抱える社会経済および政治の問題に共通する背景を探り、それを「公共性」と「市民社会」というキーワードを中心に議論していきます。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 公共性と市民社会についての政治学の議論および概念を理解し、なおかつそれらをもとに現代の政治や社会の問題を考え、議論できるようになることを目標とします。 【評価方法】 中間レポート：30点満点 期末レポート：40点満点 ミニテスト・確認テスト：30点を上限に加点						
【教科書・参考書】 教科書：教科書を購入する必要はありません。講義内容をまとめた「授業レジュメ」を利用します。 参考書：授業のなかで適宜紹介します。						
【その他】 授業の内容は若干の変更を伴うことがありますので、第1回目の授業にはできるだけ出席するようにしてください。 フィードバックについてはミニテストや質問に対して次の授業で応えるほか、「マナビコース」も使用します。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	授業ガイダンス この授業の内容、進め方、評価方法などについて説明	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
2	はじめに 問題の所在	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
3	1 公共性とは何か (1) 「公共性」に反する行為 私たちは「公共性」をどのようにとらえているのか	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
4	1 公共性とは何か (2) 共感・思いやり・つながり 「公共性」はどのようにして形成されるのか	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
5	1 公共性とは何か (3) 現代日本社会の問題 つながりを失いつつある現在の日本社会	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
6	1 公共性とは何か (3) 現代日本社会の問題 1990年代以降の日本社会の大きな変化	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
7	2 政治・民主主義・公共性 (1) 私たちと政治とのつながり 離れつつある私たちと政治	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
8	2 政治・民主主義・公共性 (1) 私たちと政治とのつながり 政治不信と劇場化する政治	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
9	3 市民社会と政治 (1) 市民とは何か その歴史的意味の変遷：古代から市民革命の時代	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
10	3 市民社会と政治 (1) 市民とは何か その歴史的意味の変遷：近代から20世紀	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
11	3 市民社会と政治 (2) アレントの政治哲学 『人間の条件』『革命について』にみるH・アレントの議論	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
12	3 市民社会と政治 (3) ハーバーマスの社会理論 J・ハーバーマスの市民社会論	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
13	3 市民社会と政治 (4) 社会関係資本論 R・パットナムの社会関係資本論	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
14	3 市民社会と政治 (4) 社会関係資本論 社会関係資本と民主主義	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			
15	総括 (フィードバックを含む) これまでの講義内容の総括	事前学習： 最近のニュース、とくに政治のニュースをチェックしておくこと、授業内容がより理解しやすくなります。(2.0h)	事後学習： 講義の内容を復習し、事例などについて調べてきてください。(2.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	観光文化と地理	板垣 武尊	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 観光学は多様なディシプリン（基盤となる学問）から構成される学問であり、地理学のもつ空間概念を援用することでより深い考察が可能となる。 本講義は、観光地の空間構造や観光現象への空間的な捉え方を学習する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・地図を読む力を涵養する。 ・地域の変化を空間的に分析する力を涵養する。 ・観光現象を空間的に捉える考え方を習得する。 【評価方法】 ・授業への取り組み 45% ・最終発表55%						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 授業時に紹介する。						
【その他】 本講義では、地図を語学学習における辞書のように使用するので、中学・高校などで使用していた地図帳を持参すること。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション 講義の概要と成績評価方法	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
2	地図の読み方① 地形図の読み方を学習する	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
3	地図の読み方② 主題図の読み方を学習する	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
4	地図の読み方③ 様々な地図の読み方を学習する	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
5	東京の変化を分析する① 江戸切絵図を読む	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
6	東京の変化を分析する② 江戸名所図会を読む	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
7	東京の変化を分析する③ 明治～昭和前期	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
8	東京の変化を分析する④ 昭和後期～現在	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
9	千葉の変化を分析する① 明治初期～明治後期	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
10	千葉の変化を分析する② 明治後期～大正	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
11	千葉の変化を分析する③ 大正～昭和初期	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
12	千葉の変化を分析する④ 昭和初期～昭和後期	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
13	千葉の変化を分析する⑤ 昭和後期～平成初期	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
14	千葉の変化を分析する⑥ 平成初期～現在	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				
15	まとめ（フィードバックを含む） 講義の総括と最終レポートの書き方	事前学習： 授業内で適宜指示された予習を授業時間外に実施すること。(2.0h) 事後学習： 授業内で適宜指示された復習を授業時間外に実施すること。(2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	ヨーロッパ文化社会論	秦泉寺 友紀	後期・秋学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 イタリアの社会や文化に関わるさまざまなトピックを取り上げ、それらのトピックの検討を通して、イタリア社会や文化の独特の構造やその変化を読み解いていく。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 イタリアの社会や文化について学び理解することを通し、私たちの生きる日本の社会や文化を相対化して捉える力、また各種データを読み解く力を身につけることを目標とする。 【評価方法】 授業時間内の各種グループワークやプレゼンテーション (50%)、学期末レポート (50%) をもとに、総合的に評価する。						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 授業時に適宜指示する。						
【その他】 manabaのプロジェクト機能を利用したグループワーク時のスレッドへの書き込み、グループディスカッションの講評、レポートの講評等によりフィードバックとする。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	イントロダクション 授業の目的、内容の概略、評価方法などについて説明・解説	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
2	イタリアのプロフィール 基礎データを中心にイタリアの概況を解説	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
3	食を手がかりとして (1) イタリアの食文化の展開	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
4	食を手がかりとして (2) 農産地の過去と現在 スローフード運動	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
5	食を手がかりとして (3) グローバル化の影響	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
6	食を手がかりとして (4) manabaを併用したグループワーク	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
7	ファッションを手がかりとして (1) ファッション産業の展開と構造	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
8	ファッションを手がかりとして (2) イタリア・ファッションは誰のものか	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
9	ファッションを手がかりとして (3) manabaを併用したグループワーク	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
10	宗教を手がかりとして (1) バチカンの歴史と現在	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
11	宗教を手がかりとして (2) カトリックとイタリア社会	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
12	宗教を手がかりとして (3) 多元化する宗教とイタリア社会	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
13	宗教を手がかりとして (4) manabaを併用したグループワーク	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
14	総括 (1) レポート振り返りとグループワーク	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				
15	総括 (2) 全体のまとめと質疑応答	事前学習： 事前に配信される資料を読み、関連する情報を調べるのが望ましい。(1.0h) 事後学習： 授業資料と自身のノートを見直し、関連する情報と照らして理解を深めるのが望ましい。(1.5h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	立体構成学実習 I	山本 高美	後期・秋学期	必修	実習	1
【授業のねらい】 立体構成学実習における基礎的な理論や技術について説明する。 婦人服における上衣パターンと、上半身の体型との関係を、作品製作を通して解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 立体構成学における、理論や技術を修得できる。アロハシャツの製作を通し、縫製技術を学ぶ。 【評価方法】 作品70%、提出ファイル20%、授業態度10%で評価を行う						
【教科書・参考書】 教科書： 文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウス・ワンピース 参考書： 文化ファッション大系服飾造形講座①服飾造形の基礎						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	オリエンテーション 授業内容の説明、シャツ・ブラウス、アロハシャツについて	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
2	アロハシャツの作図 (1) シャツ・ブラウスの種類を理解し、アロハシャツを作図 (1/4)	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
3	アロハシャツの作図 (2) アロハシャツの作図を各自のサイズ・実寸で行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
4	アロハシャツの作図 (3) アロハシャツの作図を各自のサイズ・実寸で行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
5	パターンメイキング パターンメイキングを行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
6	地直し、裁断 地直し、柄合わせ、裁断を行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
7	印つけ、芯の裁断と接着 印つけ、芯裁断と接着を行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
8	仮縫い 仮縫いを行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
9	試着・補正 アロハシャツを試着し、補正を行う	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
10	アロハシャツの縫製 (1) ダーツの縫製、ポケット作り、ポケット付け	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
11	アロハシャツの縫製 (2) 衿づくり、衿付け	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
12	アロハシャツの縫製 (3) 袖口、袖下・脇縫い	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
13	アロハシャツの縫製 (4) 裾始末	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
14	アロハシャツの縫製 (5) ボタンホール、ボタン付け	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		
15	仕上げ、まとめ 試着しプレゼンテーションを行う。フィードバック含む	事前学習： 提示資料を参照して学習する (1.0h)		事後学習： 授業内での課題が終了しない場合は、次回までに完成させる (2.0h)		

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	住居学	金指 有里佳	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 住居は、誰もが人間らしく生きるために必要な生活手段のひとつである。そうした住居を居住者自身が主体的に選択し、改善し、創造していくための基本的知識を学び、理解する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 人どうまいに関する関わりを理解し説明できる知識を持つ。また、簡単な図面が書け読める。 【評価方法】 レポート等の課題 (90%)、授業への取り組み (10%)						
【教科書・参考書】 教科書： 定行まり子他「生活と住居」光生館 参考書： 必要に応じて紹介する。						
【その他】 授業や課題にしっかり取り組んでください。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	住居学への招待 受講ルール、住居学とは、本講義の視点、住まいの学び方	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
2	人と住まいと寸法 測ってみよう身近な寸法、学ぼう空間尺度	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
3	住まいの歴史1 住まいの基本は夏、「床座」という伝統様式と暮らし	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
4	住まいの歴史2 近代日本の住宅の洋風化と空間構成・「椅子座」など	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
5	家族と住まい1 家族の住まい方と間取りの関係	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
6	家族と住まい2 子供部屋の必要性和プライバシーを考える	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
7	写真や映像で見る日本の住まい 日本の住宅事情 日本の住まいの優れた点と課題を模索する	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
8	集合住宅論1 共同住宅と集合住宅 低層・中層住居の定義	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
9	集合住宅論2 高層住宅の歴史と住居に関する問題	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
10	住まいの多様化 コーポラティブハウスなど	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
11	住まいの健康と安全 シックハウス症候群 家庭内事故など	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
12	バリアフリーと住まい 誰もが安心して暮らせるバリアフリーの住まい・まちづくり	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
13	住まいと防災 日本の災害とその防災の知恵	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
14	フリーハンドで間取りを書こう！製図の基本 住宅の平面図を書こう	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				
15	総括 (フィードバック含む) 誰もが人間らしく暮らせる住まいと課題	事前学習： テキストを熟読して各回の授業テーマの内容を頭に入れる (2.0h) 事後学習： テキストの復習とともに授業で示した学びのポイントを整理して理解を深める (2.0h)				

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	高齢者福祉論	岡本 秀明	後期・秋学期	選択	講義	2
【授業のねらい】 高齢者の定義、特性、生活、社会環境について解説する。高齢者福祉の歴史、高齢者観の変遷、高齢者保健福祉制度の発展過程、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて解説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 高齢者の定義、特性、生活、社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史、高齢者観の変遷、高齢者保健福祉制度の発展過程、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 【評価方法】試験を基本（100%）とし、課題提出、授業への取り組み態度や積極性により調整する。						
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 高齢者福祉』中央法規						
【その他】 授業についての質問は授業終了後に対応する。						
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】			
1	超高齢社会の到来 オリエンテーション 人口高齢化 超高齢社会の到来		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
2	高齢者の定義と特性 高齢者とは 高齢者の身体的、精神的、社会的理解		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
3	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境 高齢者と同居、世帯、雇用、介護需要 独居 老老介護		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
4	高齢者観 高齢者観の変遷 エイジズム 高齢者福祉の理念 人権尊厳		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
5	高齢者福祉の歴史 高齢者福祉制度の発展過程 老人福祉法や介護保険法の成立		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
6	高齢者に対する法制度その1 介護保険法その1 介護保険制度の概要 保険者と被保険者		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
7	高齢者に対する法制度その2 介護保険法その2 地域支援事業		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
8	高齢者に対する法制度その3 介護保険法その3 介護保険サービス体系 居宅サービス		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
9	高齢者に対する法制度その4 老人福祉法 高齢者の医療の確保に関する法律		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
10	高齢者に対する法制度その5 高齢者虐待防止法 バリアフリー法 高齢者住まい法		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
11	高齢者に対する法制度その6 高齢者雇用安定法 育児・介護休業法		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
12	高齢者と家族等の支援における関係機関の役割 国、都道府県、市町村 地域包括支援センター		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
13	高齢者福祉に関連する専門職等の役割 社会福祉士 関連する専門職等の役割 家族、住民、ボランティア		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
14	高齢者と家族等に対する支援の実践 高齢者と家族等に対する支援 社会福祉士の役割 事例		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			
15	試験及び総括（フィードバック含む） まとめ 試験		事前学習： 1回の授業につき授業予定テーマに関して調べる。(2.0h) 事後学習： 事後には授業プリントを見返し、理解を深める。(2.0h)			

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
和洋	衣生活論	柴田 優子	後期・秋学期	必修	講義	2
【授業のねらい】 衣服の役割を見つめ直し、学生が将来にわたり、賢い消費者として豊かな衣生活を送ることができるように、衣生活に関わる基礎的な事項について概説する。						
【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】 衣生活の様々な問題に興味を持ち、自分の衣生活を見直し、主体的に衣生活を営むことができるようになる。日常着の素材特性やその扱い、流行等を理解し、賢い衣服選択・管理ができるようになる。 【評価方法】 授業内で実施する課題レポート等						
【教科書・参考書】 教科書： ビジュアル衣生活論 岡田宣子他共著 建帛社 参考書： その都度、紹介する						
【その他】						
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】		
1	人はなぜ装うのか 着用動機説、衣服の機能、気候風土について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
2	衣服のかたちの変遷(1) 西洋服飾史について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
3	衣服のかたちの変遷(2) 日本服飾史について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
4	衣服素材の種類(1) 繊維の原料、繊維について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
5	衣服素材の種類(2) 糸・布について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
6	衣服素材の性能 着心地・取扱いやすさに関する性能と各種加工と新素材について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
7	衣服の品質と管理(1) 衣料品の品質と表示	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
8	衣服の品質と管理(2) 衣類の洗濯(汚れ、洗剤)	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
9	衣服の品質と管理(3) 衣類の洗濯(家庭洗濯、商業洗濯)	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
10	衣服を着装する人体 成人男女のからだつきと既製服サイズ表示について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
11	装いのコミュニケーション(1) 衣服の象徴性について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
12	装いのコミュニケーション(2) 色・流行・個性と装いについて	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
13	装いのコミュニケーション(3) 色・流行・個性と装いについて	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
14	装いと生活環境 衣の消費と廃棄について	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				
15	総括(フィードバックを含む) 学びの達成度を確認する	事前学習： 教科書を読んでおくこと (0.5h) 事後学習： 実際の衣生活の中で学んだことを確認したり調べたり実践したりすること。(1.0h)				

各大学へのアクセス

単位互換科目を受講の際は、必ず各自でアクセス方法・所要時間を確認してください。

大学名	アクセス
昭和学院短期大学	https://www.showagakuin.ac.jp/outline/access/ JR 総武線 本八幡駅より徒歩 20 分 または、都営新宿線 本八幡駅、京成電鉄 京成八幡駅より徒歩 15 分
東京経営短期大学	https://www.tokyo-keitan.ac.jp/access/ 西船橋駅 南口より徒歩 12 分 (スクールバスあり・運行時刻は Web サイトを参照ください)
千葉商科大学	https://www.cuc.ac.jp/access/index.html 京成電鉄 国府台駅より徒歩 10 分 または JR 総武線 市川駅より徒歩 20 分(バス利用の場合、市川駅より 10 分)
和洋女子大学	https://www.wayo.ac.jp/access 京成電鉄 国府台駅より徒歩 9 分 または JR 総武線 市川駅より徒歩 20 分(バス利用の場合、市川駅より 10 分)
東京医科歯科大学 (教養部)	https://www.tmd.ac.jp/artsci/outline/access.html 京成電鉄 国府台駅より徒歩 20 分 または JR 総武線 市川駅よりバス 10 分、国府台病院下車 徒歩 2 分

大学コンソーシアム市川

2024年度後期・秋学期 特別履修学生出願票

特別履修学生として、下記科目を受講いたしたく出願いたします。

出 願 者	学籍番号		性別	男 ・ 女			
	フリガナ 氏 名		生年月日	年 月 日生 () 歳			
	現住所	〒					
	携帯電話番号	()					
	e-mail						
	所属大学	大 学					
	学部・学科				学 年	※	
出 願 先	受入大学	大 学					
	受 講 科 目	授 業 科 目 名	単 位	学 期	教 員 名	曜 日	時 限
出 願 理 由							

※受講年度の学年を記入してください。